夕刊
臺灣日日新報
二月十一日

臨時軍事費豫算成立
貴院また滿場一致可決

【東京電話】臨時軍事費追加豫算案は九日の衆議院に於て原案可決、即日貴族院に送付されたが十日貴族院に於ては午前十時より豫算總會を開き衆議院同樣原案可決し午後一時半より開會の本會議に緊急上程し滿場一致を以て可決、ここに二百七十億圓の臨時軍事費追加豫算は議會提出以來僅に三日間を以て兩院を通過成立を見た、又この日衆議院は午前十時七分より豫算總會を除き各委員會を開き[illegible]九日大本營より發表の南太平洋方面戰況に關し[illegible]より詳細なる説明を聽取して大東亞戰爭が愈々大規模の樣相を深刻化して總力を必要とする段階を新たにした、又法案審議については貴族院は午後一時半本會議を開き衆議院送付の石油專賣法案外八件を上程委員附託とし更に委員會の審議を了した在滿日本人の身分に關する滿洲國法案の效力に關する法律案外二件を上程、委員長の報告通り可決、即日衆議院に送付、ここに貴族院先議法案三十九件は戰時刑事特別法中改正法律案の一件を除き三十八件を總て本日を以て衆議院に送付を見るに至つた、衆議院は[illegible]分科會を一齊に開いて今日一日を以て審議を終了する外午前午後に亙り市制改正、町村制改正、府縣制改正並に貴族院より送付の[illegible]、國民貯蓄、北支那開發、[illegible]法の各法案委員會を開いた

インマリン

南太平洋戰況報告
衆院豫算總會
壯烈皇軍の勇戰奮鬪

【東京電話】衆議院では政府の申入れにより南太平洋方面戰況の説明を受けるため十日午前十時七分特に秘密會を開會、陸海軍代表の政府委員より九日の大本營發表に基き主として同方面の陸戰及び海戰に關し所要の如き詳細説明を行ひ、ソロモン群島のガダルカナル島並びにニユーギニヤ島のブナ附近に轉進せる皇軍將兵の壯烈なる勇戰奮鬪狀況並びにその作戰の經緯を明らかにし多大の感銘を與へた

回教徒の信仰尊重
外相言明

【東京電話】谷外相は九日午後の衆議院豫算總會第一分科會において全世界三億三千萬に上る回教徒に對する帝國の根本方針は[illegible]回教徒の信仰を尊重、國際的地位の向上につき積極的支援を惜しまぬこと

一、大東亞共榮圏内の回教徒に對しては他のインド教徒、佛教徒同樣八紘一宇の大精神に立脚し安居樂業、その所を得しむべきこと

一、西南亞細亞、アフリカ等米英軍の軍事的制壓下にある回教徒に對しては獨伊と協力しその解放に努力しつつあること

等帝國政府の回教徒對策を力強く言明した

國防獻金二億一千萬
陸軍次官、使途内容報告

【東京電話】支那事變、大東亞戰爭を通じて國民の赤誠の結晶は澎湃たる國防獻金となつて送り出されてゐるが、木村陸軍次官は九日の衆議院豫算第三分科會に於て支那事變以來昨年末までの陸軍に對する國防獻金の件數及び金額の總額並に右の獻金の使途の内容を次の如く報告した

一、大東亞戰爭勃發以來昨年末までの國防獻金は件數總計四十六萬餘件、金額の總計一億六千八十餘萬圓に上つてゐる

一、支那事變當初から昨年末までの累計を見れば國防獻金は六十九萬五千餘件、一億一千四百九十餘萬圓、恤兵金は百六十二萬四千餘件、九百三十餘萬圓、學校獻金四萬七千餘件、九百七十餘萬圓、計一億二千三百九十餘圓に達してゐる

一、國防獻金は獻納者の意思に從ひ使用してゐるが、昨年末までの國防獻金の使途の内譯は左の如くである

飛行機一、二三一、戰車、裝甲車二六〇、高射砲六二七、野砲一九一、火砲一、八二〇、機關銃一、三九八、探照燈一六二、[illegible]一四、四八三、その他各種自動車、防毒面、衞生材料

皇國の道の修錬
新生師範學校の教科書

【東京電話】今春四月から實施の新制師範學校用教科書（本科一年用）心理（上）衞生（一）の各教科書について文部省の[illegible]の通り決定、九日發表された、師範學校教科書（本科用一）は[illegible]皇國の道の修錬であるといふ觀點に立つて既成の[illegible]の分科制形に拘泥することなく、[illegible]の事物現象を綜合處理する[illegible]知識、技術を習得させ、以て國民の科學技術の水準を高め、新秩序建設の原動力を培養せしめる目標を以て編纂されたもので[illegible]

[illegible]は第一章[illegible]の系統、第二章[illegible]の場合、第三章確率と統計、第四章圖形と方程式の四章からなり、いづれも生徒自ら考察して概念と理法を摑みこれを活用する態度を[illegible]させるやう考慮が拂はれてゐる

師範心理（上） 本科第一學年用教科書で内容は教育家實理の使命を明かにし國民生活に對する正しい考へ方、或ひは兒童青年の正しい見方に關する基礎的理解を得させ乳幼兒より兒童期、青年期に亙つて發達の樣相を具體的に把握せしめようとしてゐるもので、大體の所謂一般心理學、教育心理學、發達心理學乃至は兒童心理學、青年心理學を渾然一體とした獨自の體系と内容を與へ教育事象を正しく處理する力を涵養することに重點を置いた獨自の教育心理ともいはるべきものである

師範衞生（卷一） 國民體位の向上と言ふ國家的立場から國民學校教師の保健衞生に關する識見を高めんとして創設されたもので第一に衞生の意義、健全なる心身の問題を國家的立場、民族の發展と言ふ觀點から説明し兒童と青年の體位の推移を統計的資料によつて具體的にし、人口問題にまで及んでをり特に疾病と豫防の所で結核に對する正しい認識を與へてゐるのは現下小國民保健上注目される

陸軍大將に親任
山下、岡部、藤江三中將

【東京電話】陸軍省發表（二月十日）今般左記の通り親任せられたり

陸軍中將　山下奉文
同　岡部直三郎
同　藤江恵輔
任陸軍大將

陸軍大佐　菅井[illegible]
補陸軍省副官

陸軍大佐　川原直一
補陸軍兵器行政本部附

（寫眞は山下、岡部、藤江の三新大將）

利己的私慾に汲々
米戰爭目的の矛盾
ウエルズ演說、自ら暴露

【東京電話】開戰以來の敵アメリカは何の目的で大東亞戰爭に臨んでゐるか、所謂アメリカの戰爭目的に對する國民の疑惑は愈々濃化し、ルーズベルトを始め政府首腦部は機會ある毎に[illegible]を用ひて反對派の鎭撫に努力してゐるが、去る四月國務次官ウエルズはメリーランド州大學で演說を行ひ本問題に對する國民の疑惑を緩和せんと試みた本演說はアメリカの戰爭目的なるものに就いて開戰以來始めて公にされたものとして一應の注目を惹くものではあるがその内容は

米國内 に戰爭目的を解せぬものが多數居る事實を確認するとともに本演說に於て「最小國家も最大國家と等しく安全に存續する未來の世界を建設するために我々は戰つてゐる」と言ひながら「若しも米國が三十年前に於て世界秩序の維持に對する責任の一半を擔つてゐたならば今日ヒトラー主義やファシスト、日本軍國の擡頭は見なかつたであらう」と云ふ事を強調、今開戰が米國自身の利己的私慾から出た[illegible]を暴露し國民の自由を犧牲にした[illegible]とは全く正反對な結論に到達し、最後に[illegible]に對して「更に大いなる犧牲を覺悟せよ」と警告してゐる、彼の云ふ戰爭目的なるものは一讀して先きに中外に闡明した我が帝國の大方針に對する[illegible]であることは云ふまでもないが、斯かる[illegible]の戰爭目的まで[illegible]打倒に邁進せよと激勵してゐる點は注目されてよからう、ウエルズの演說要旨次の如し

余は時として吾等が餘りに[illegible]であると考へる、[illegible]

何の爲 に戰つてゐるのか、その理由が十分に闡明されてゐない[illegible]、我々米國民は[illegible]自己の自由と獨立を保持せんがために戰ひ、この全世界を暴力と不信行爲を以て支配し得ると考へた一群の[illegible]を潰滅させるために我々は戰つてゐるのである、最小國家も最大國家も等しく安全に存續し男女共平和に何人も自由に安全にその生涯を送り得る樣な未來の世界を創造するために我々は戰つてゐると余は希望し確信してゐる

若し米國が三十年前に於て世界秩序の維持に對する責任の一半を擔つてゐたならば今日ヒトラー主義やファシスト、日本の軍國主義の異常な成長が[illegible]せられる[illegible]は遙かに強められたであらうと云ふ事實に今日の思慮ある男女の多數が果して思ひを致し得るか何うか余は

疑はしく 思ふ、この戰爭は必ず敵の無條件降伏を以て終るのである[illegible]

[illegible]

地下資源開發 産業再編
決戰議會と生産增强（二）

[illegible]

重要鑛物增産法 の改正 [illegible]

産業再編成關係 の法案 [illegible]

また鑛業開發法 の改正 [illegible]

商工經濟會法案 は[illegible]

舊套を脱却して [illegible]

國際展望

焦る米英連續會談
獨英外交戰の舞臺トルコ

ス市の悲劇 [illegible]

善る英米 [illegible]

アダナ會談 トルコ南部の[illegible]

[illegible]

爆彈で立往生
雷撃機で止め
米空母ヨークタウンの最期

[illegible]

艦艇撃沈破六十六
伊海軍、最近三月の戰果

【ローマ九日發同盟】イタリア海軍當局は昨年十一月八日から二月七日までの三箇月間に[illegible]

米新聞用紙更に一割削減を實施

【リスボン九日發同盟】ワシントン來電＝米國戰時生産局は九日、來る四月一日より新聞用紙の[illegible]

增税と專賣の增收
督府新年度豫算の財源

[illegible]

米國民徴用法案
男子は十八から六十五迄

【ワシントン八日發同盟】[illegible]

米陸軍の死傷發表

【ワシントン八日發同盟】[illegible]

荒鷲の蹂躪に遁塞
在支米空軍に重慶不滿

[illegible]

勞務者の最高最低賃金打合

[illegible]

人事

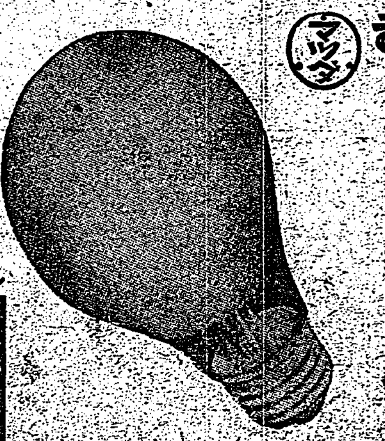
[illegible]

8000番
最高級製圖用
硬度16階級・1本20セン
トンボ鉛筆

骨の病
セキズイ炎
骨膜炎
關節炎
カリエス
[illegible]
長壽園本部

働く婦人の胃腸病
旺盛な消化力喚起
食慾不振・消化不良・便秘等で活氣のない方は、錠わかもとを服んで體質的治療を早く——獨特の細胞賦活作用により失つた食慾と消化力を旺盛に喚起して、快便を促し、愉快に仕事の能率を上げ得る強壯體を造りませう
錠劑 わかもと
二百錠 二圓二十五錢
[illegible] 一圓六十錢
（地方により[illegible]あり）
東京 わかもと本舖

感冒
扁桃腺炎
肺炎
中耳炎
内服すれば速やかに吸收され病竈に深達して各病原菌の活動を阻止し最短期に治癒せしむる新化學療法劑
テラポール錠
第一製藥株式會社 東京市日本橋區江戸橋


よい電球で無駄をはぶき——生産力に振向けませう
同じ明るさで電力2割節約できる——二重コイル
マツダランプ
東京芝浦電氣株式會社

我に鐵壁の護あり 敵機來らば來れ

六百萬島民の備へ萬全

【東京本社特電】[illegible]における西南太平洋[illegible]の我が將兵が[illegible]の攻勢を[illegible]せると共に

航空　兵力の增強に依り[illegible]、連日に亙つて敵の陣地を[illegible]し今や[illegible]に突入しつつあるが、敵は[illegible]方面の戰局に[illegible]有利な地位にあるを奇貨とし、打ち續く敗戰を[illegible]する意圖した大宣傳を行ふと同時に反攻[illegible]の[illegible]に呼應し日本本土への進攻基地たらしめんとして太平洋艦隊の主力及び空軍勢力を同方面に集中[illegible]なる消耗戰を挑んで來たが、我が將兵は敵の挑戰に對し早急な決戰を避け[illegible]必勝の態勢を整へジリ押しに敵を[illegible]して來たものである、然し[illegible]敵が同方面より日本本土へ進攻するには更に內南洋諸島、大島[illegible]を攻略せねばならず

皇軍　[illegible]の前には[illegible]不可能と言はねばならない、敵も[illegible]たる此の事實に[illegible]を[illegible]めると共に[illegible]となり新たなる反攻態勢を企圖しつつあることは[illegible]に察知することが出來ぬ、既に敵は西部アラスカ[illegible]の完成に依り[illegible]せるアリューシャン[illegible]の[illegible]するものの如く[illegible]方面の[illegible]を[illegible]しつつあるが、[illegible]に一方支那大陸を基地とする空軍を以て直接[illegible]して本年度における在支米空軍の飛行[illegible]が行はれるものと見られる、從つて目下支那派遣軍の[illegible]的攻擊に依り、鳴りをひそめてゐる敵空軍が

嚴重　なる我が[illegible]を[illegible]つて小規模な反擊を試みて來る事は[illegible]され、此の場合大陸と至近の距離にあり、加ふるに南方[illegible]への中繼基地として[illegible]に重要[illegible]を加へつつある臺灣が敵空襲の目標とされる事は[illegible]に難くない[illegible]空前の大戰爭を遂行しながら[illegible]に空襲を免れてゐる[illegible]民も今こそ心を新にし「敵よ來たらば來たれ」と不動の[illegible]を一層強化し、銃後の生產戰に於ても一段と能率を增大し、[illegible]の民と共に光榮ある大東亞共榮圈建設に[illegible]く[illegible]を固めねばならぬ（大本營許可濟）

賞賜品傳達式

基隆市役所で

【基隆電話】基隆市出身の支那事變[illegible]勇士故陸軍中尉[illegible]以下二十六名に對し基隆市では十日午前十時から市役所三階[illegible]に於て之が傳達式を擧行した

健兵へ勵む在鄉軍人

あす・聯合分會毎に鄉軍大會

[illegible]第一年、一億國民として[illegible]時に迎へあす十一日、榮光[illegible]く紀元二千六百三年の紀元の佳節に當り、[illegible]の[illegible]を[illegible]と共に[illegible]としての自覺を更に新たならしめ何時召[illegible]になつても直ちに[illegible]に立ち得る[illegible]を[illegible]し、一方[illegible]の[illegible]に資すべく各聯合分會毎に午前九時半から左記の[illegible]で一齊に鄉軍大會を開催する事となつた、大會終了後步武堂々と各聯合分會毎に市內行進をなして新公園に到り同十一時から行はれる市主催の建國祭式典に參加する事となつてゐる

△中央聯合分會—新公園音樂堂△東聯合分會—旭國民學校△西聯合分會—小南門[illegible]△南聯合分會—第一中學校、△東南聯合分會—武德殿前△北聯合分會—建成國民學校

逞しい熔岩の流れ

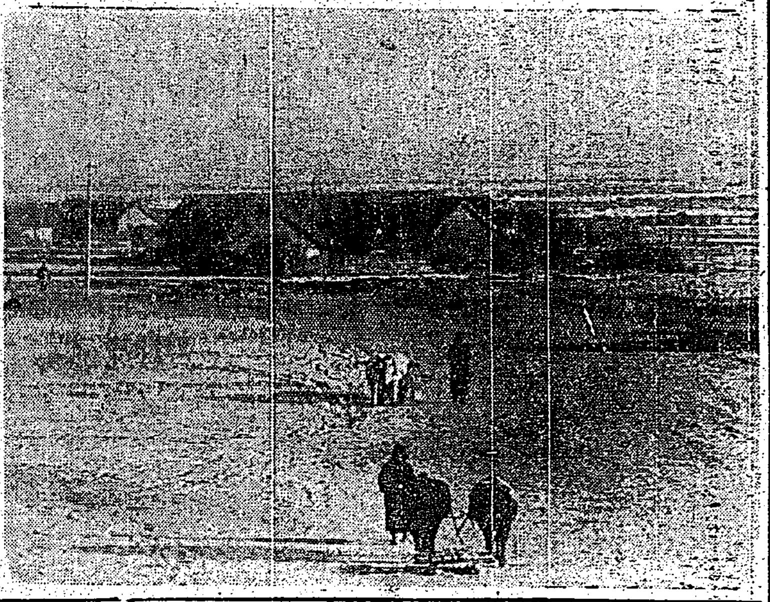
白雪の下・處女の死の如き火口

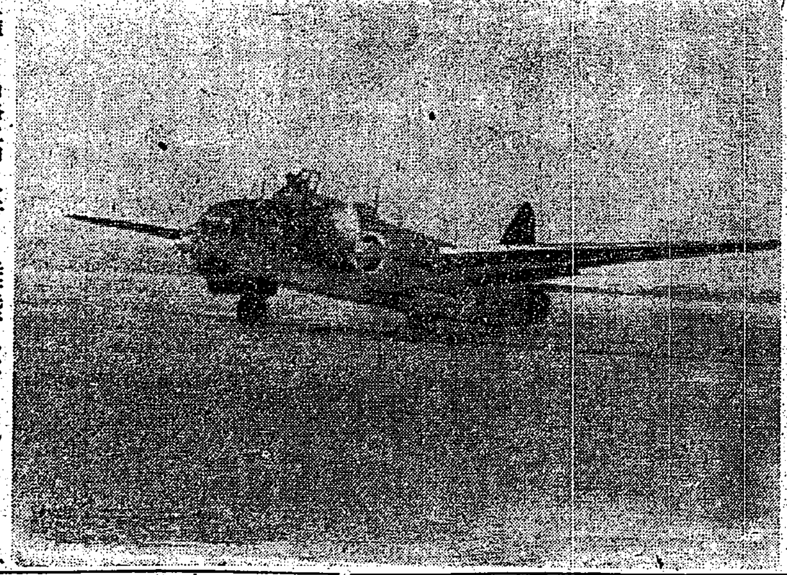
冬の五大連池を探る

【五大連池にて新京關東軍報道部員六日發同盟】[illegible]國十年、今なほ人跡未踏の處女地として千古の斧を入れざる密林と美しい火山の山容が[illegible]たはつてゐる、此[illegible]小興安嶺の山並みが[illegible]をもつて大アムールに消えるところに噴出熔岩によつて出來た堰止湖五大連池の絕景がある、北安省北安街から西に向つてバスで二時間、曾つて[illegible]山[illegible]地として知られた[illegible]に入つて更に東北に進むこと三十分、廣漠たる白銀一色の色彩の中に突如冬空にくつきり十四の規則正しい火山が浮び上つて來る、之が五大連池火山丘である、[illegible]は[illegible]ポプラ、ブナ等の[illegible]の冬木立の中にポクリと浮んでゐた、[illegible]の[illegible]出す一杯の[illegible]に[illegible]し私達は[illegible]山の火口底を歩いた、三百米もあらうか、之は見るからに可愛らしい火口であつた、うつすらと降り敷かれた白雪の下に處女の死の如く靜かに眠つてゐる、歷史によれば[illegible]五十九年[illegible]の火山が最後の噴火をしてから既に二百二十三年、休火山としての山容は靜か過ぎる位の靜けさである

[illegible]第一と稱される[illegible]熔岩の[illegible]を前にして私は五大連池の火山丘中[illegible]第一の[illegible]山頂に立つた、南五大連池火山丘の[illegible]、[illegible]十四キロ[illegible]のた打ち廻るが如く或は臥龍の如く奇怪といふにはあまりにも奇怪な熔岩流を中に挾んで尾山、モラブ山、西龍門山、東龍門山、[illegible]山、東チョトウ山、西チョトウ山が正しい[illegible]の山等を示して[illegible]の如く、その背後には北カラク山、南カラク山、[illegible]山、臥虎山が全く美しい圖樣をなして並んで居る、この山々の「[illegible]」の通り頭池二池三池と五つ並んだ[illegible]の五大連池が、冬の日ざしを今は凍りついた湖面に照り返してゐる、仰げば吸ひ込まれるかと思はれる北滿の冬空の深く澄み渡つた大氣の中にこの山々と湖面とから醸し出す[illegible]、天人[illegible]の[illegible]は更に谷間に響く、夏なれば姬百合が咲き、[illegible]が鳴り、野菜が[illegible]れる、柔らかな[illegible]を踏み分けて行けば[illegible]河のせせらぎが聞えるであらう、この谷間を過ぎれば[illegible]第一と[illegible]される石[illegible]熔岩の[illegible]流に[illegible]する[illegible]はここで全く[illegible]する、[illegible]の[illegible]せる如く[illegible]の[illegible]く如く逞しい熔岩の流れが白雪の下に高さ丈餘に亙つて遠く南に向つて打ちつづく、その北に[illegible]をなす老[illegible]山と火燒山は[illegible]として[illegible]つて冬空に[illegible]の如く聳え立ち、五大連池の[illegible]に千金の重みを與へてゐる、五つの[illegible]とそれを取り圍む十四の火山丘が今北滿の涯に靜かに眠つてゐる、この山容、この水色に[illegible]引く勇士の[illegible]にその[illegible]を[illegible]は何時の日であらう

（寫眞は[illegible]火山[illegible]五大連池の[illegible]）





轟々出發點に着き離陸に移らんとする海軍新銳爆擊機

【海軍省許可濟第一〇一號】

犒軍に新鮮な鷄卵

新竹市・養鷄者間に供出運動

【新竹電話】新竹市では市民に皇軍への感謝を[illegible]せしめる[illegible]市民[illegible]者中より新鮮な卵を供出させる事となつた、これは既に各[illegible]班を通じ[illegible]並びに[illegible]の[illegible]も出來てゐるのでそれに即して十羽[illegible]飼つてゐるものは每日一箇以上、二十羽までは日に二箇以上、二十羽以上は三箇以上をまとめて又は每日所定の家[illegible]組合町會事務所に納入することとなつてゐるもので、この卵供出の愛國運動は來る二十日より實施され少くとも[illegible]中實施される

皇民へ各階層再鍊成

皇奉本部 中央、地方に區別實施

皇民奉公會中央本部では本島皇民の再鍊成が決戰下奉公運動の基底をなすものであるに鑑み[illegible]以來之が[illegible]に於ては常に大[illegible]の努力を傾け來つたが、本十八年度に於てはこの[illegible]を[illegible]に徹底せしめるべく[illegible]所期の成果を[illegible]することになつた[illegible]を本部主催に依つて行ふ「中央訓練」と、地方各支部に於て行ふ「地方訓練」に區別しその[illegible]なる實施要綱を[illegible]てゐるが、[illegible]は左の如くである

中央訓練

本部主催を以て臺北又は各[illegible]に於て[illegible]を[illegible]する

一、支部[illegible]者鍊成會

イ、目標　奉公運動の全般に亙り[illegible]の要請する[illegible]を明かにし[illegible]者としての鍊成をなす

ロ、期間　十日間

ハ、訓練員　州廳支部支會幹[illegible]

ニ、實施期　七月

二、壯年團幹部鍊成會

イ、目標　壯年團運動の[illegible]を[illegible]せしめ奉公運動の協力[illegible]

ロ、期間　十日間

ハ、訓練員　第一、二、三種[illegible]

ニ、實施期　八月（北部一回、南部一回）

三、青年訓練指導者鍊成會

イ、目標　[illegible]

ロ、期間　[illegible]

ハ、訓練員　[illegible]

ニ、實施期　八月

四、支部支會奉公委員[illegible]鍊成會

イ、目標　奉公運動の[illegible]としての[illegible]

ロ、期間　五日間

ハ、訓練員　[illegible]

ニ、實施期　[illegible]

五、文化[illegible]者鍊成會

イ、目標　[illegible]

ロ、期間　四日間

ハ、訓練員　支部支會の奉公委員又は參與

ニ、實施期　十月

六、指導者[illegible]鍊成會

イ、目標　本島に於ける民間[illegible]

ロ、期間　三日間

ハ、訓練員　新聞雜誌關係者及び[illegible]者

ニ、實施期　八月

七、[illegible]鍊成會

イ、目標　中等學校以上の[illegible]一員の[illegible]を求め奉公運動に對する[illegible]を把握せしめ一段と本運動に協力せしむ

ロ、期日　五日間

ハ、訓練員　中等學校以上の[illegible]職員

ニ、實施期　八月

八、[illegible]鍊成會

イ、目標　商業、工業、鑛業等の關係者に對し奉公運動の[illegible]を把握せしめ本運動に協力せしむ

ロ、期間　三日間

ハ、訓練員　各階級別

ニ、實施期　二月、三月

「地方訓練」

支部を單位とし支部主催とす

一、[illegible]分[illegible]員鍊成會

二、推進員[illegible]役鍊成會

三、壯年團員鍊成會

四、分會奉公委員[illegible]鍊成會

五、其の他

班常會に紙芝居利用

【宜蘭電話】皇民奉公會宜蘭市支會では奉公運動の[illegible]は常會にありとなし一月常會より紙芝居[illegible]隊員の出動により市內十一區會の常會は勿論奉公班常會に至るまで紙芝居を利用することとなつたが隊員の數に限りがあるので奉公班常會は毎月一區會宛順次[illegible]隊員出動と決定し一月の奉公班常會は本町區會に隊員を配屬して[illegible]區會の成績如何によつては[illegible]班を目標として推進せしめたが班常會には奉公班によつては國語不[illegible]者ばかりの班もあるのでさういふ所へは本島人隊員を派遣して萬全を期した

國語家庭六百五十二

臺北州・近く市郡毎に認定書交付

臺北州では本島人の國語常用促進の一助として昭和十二年度から每年紀元の佳節を卜し國語家庭を認定して來たが昭和十七年度の認定は各市郡の推薦に對し州當局で銓衡審査の結果、六百五十二家庭を認定することと決定、各市郡で夫々認定證書交付式を擧行するがかくて州下の國語家庭は[illegible]百八十二家庭の多きに上つた、十七年度認定の各市郡別は左記の通り

△臺北市二〇六△基隆市五一△宜蘭市二五△七星郡八六△淡水郡三一△基隆郡七六△宜蘭郡二九△羅東郡三〇△蘇澳郡七△文山郡五五△海山郡四四△新莊郡二三

なほ臺北市の右國語家庭認定證書交付式は十二日午前十時から市正廳で擧行される、通知を受けた者は必ず出頭されたしと

擧がる彈丸獻金熱

佳き日・軍司令部へ九千餘圓

"金よりも一發の彈丸を送れ" この言葉こそは日米決戰場ソロモン群島のジャングルに[illegible]を[illegible]に血みどろの戰ひを續ける我が[illegible]將士の悲壯な絕叫だ、勝つために總てを捧へ忍び來る日も來る日も苦戰の連續であるこの勇士達を[illegible]銃後國民は見棄ててはならぬ、"一錢でも彈丸を送れ" それは我々の義務である、[illegible]彈丸獻金[illegible]があれば陸軍には[illegible]彈丸獻金をすべきであらう、八日の大詔奉戴日に軍司令部に獻納された彈丸獻金は六千二百二十三圓二十二錢（九件）の多額であつたが、[illegible]ではこの[illegible]彈丸獻金[illegible]を以て[illegible]彈丸をこしらへ[illegible]銃後の赤誠に應へたいと[illegible]る感謝をしてゐる

義捐金分配打合會

【宜蘭電話】昨年七月十一日、九月十一、二日兩度に亙り蘭陽地方一市三郡を襲つた暴風雨の災害に對する本社並に五新聞社募集の義捐金は既報の如く臺北州に於て分配方法を決定したが九日午前十時より市役所に州より石川社會課長[illegible]並に一市三郡の[illegible]係官參集義捐金處分に就て打合せ協議をしたが近くそれぞれ罹災者に配當することになるが義捐金はそのまま貯金して罹災者の[illegible]に資したいと[illegible]してゐる

初の司法保護委員

けふ委員、役員に辭令交付

司法保護事業法の施行により保護[illegible]の第一線突兵として新に委囑の[illegible]より任命された臺北州下の司法保護委員辭令交付式は十日午前十時より臺北公會堂で擧行、池內高等法院長、中村檢事[illegible]、伊藤[illegible]部長、[illegible]檢察官長、稻田法務部長、[illegible]刑務所長、[illegible]臺北州知事、[illegible]同部長、山田[illegible]、加藤臺北刑務所長[illegible]をはじめ増田[illegible]、[illegible]州下の司法保護委員[illegible]三百餘名出席先づ國民儀禮を行つてから稻田部長より各保護委員[illegible]に辭令を山下南署長、荒川[illegible]部長、武生氏の代表三氏に夫々交付、終つて[illegible]官長が代讀[illegible]臺北[illegible]長の訓示、[illegible]司法保護事業聯盟會長（稻田部長代讀）並びに[illegible]の祝辭があり之に應へて三百餘の委員を代表し[illegible]

總督告辭

本日玆に司法保護委員並司法保護委員會役員の任命辭令交付の式典を擧ぐるに當り所懷の一端を陳ぶるは洵に予の欣快とするところなり惟ふに司法保護事業は[illegible]罪に陷りたる者又は其の虞れある者を[illegible]し[illegible]して忠良の臣民たらしむるにあり[illegible]其の目的とするところ一視同仁[illegible]の大御心を[illegible]し皇國古來の美風たる[illegible]一如の[illegible]を[illegible]せんとするものにして刑事政策上最も緊要なる事業なり[illegible]而して本事業を推進する[illegible]之が法制化に[illegible]本島民[illegible]しく多年の要望なりしに今や大東亞[illegible]の[illegible]を決定すべき昭和十八年の年頭に於て其の緒に就きたるは[illegible]の[illegible]なりと[illegible]、[illegible]本事業の[illegible]は[illegible]本[illegible]の中核たる司法保護に從事せられんとす、其の[illegible]に[illegible]めて重大なるもの[illegible]べからず、[illegible]諸子は[illegible]を[illegible]に[illegible]し關係部門と連絡を[illegible]にし[illegible]と[illegible]を[illegible]して[illegible]に司法保護の實效を擧げ[illegible]力[illegible]に資せられんことを[illegible]以て告辭とす

あす文化賞授與式

皇民奉公會中央本部では明十一日紀元の佳節に際し紀元の佳節を迎へる[illegible]國祭をとり行ふほか[illegible]つた[illegible]文化賞の授與式及び[illegible]に於て夫々[illegible]する

八[illegible]十五[illegible]その[illegible]を強化して九日午後[illegible]時から市役所三階[illegible]で新[illegible]の入隊式を擧行、宇[illegible]の[illegible]に次で竹中市長、近江[illegible]

救助功勞者表彰式

【[illegible]】[illegible]

大日本傷痍軍人會基隆部分會發會式

【基隆電話】大日本傷痍軍人會基隆部分會の發會式は[illegible]

日婦雙東街分會防訓練

[illegible]

斷くて國民貯蓄殊勳甲（三）

生活費を切下げて

決戰生活へ一路驀ら

江口　タバコが値上げになりその値上りの差額だけでも、私どもの部下では相當額に達して居るこれを何とか有效に使つて、全部國民貯金に振り向けるといふやうなことにでもしたら、と思ひます、婦人會の方々には[illegible]年前と[illegible]力して、いろいろと說いて頂いて居ります、なかんづく各家庭に於ける[illegible]品の[illegible]の如きは御婦人の手を借らなければ到底思ふやうな成績は擧げ得られないのでありまして、これらの收益を貯蓄に振向ける事になれば、物資節約と、貯蓄獎勵の一石二鳥の目的は遺憾なく達成せられる事になると思ひます

安部　貯蓄運動にしましても何にしましても[illegible]の相[illegible]はぬものは永續性がない、貯蓄運動もやはりためろためろといはれても、殘らなかつたのかこれから殘らなければよいのかサッパリ見當がつかぬやうでは[illegible]合がない、時々通帳の中味をあけて、ソッと覗いて見るといふことはなかなか樂しみなものである、かうした心理狀態にとらへて行くことが、國民貯蓄の[illegible]といふものを、巧みに比較的やりやすいものにする一の方法なのではあるまいかその反面に人のふところの中をのぞく方[illegible]かれる方も大へんに[illegible]持のよいものではない、だから調査とか査定とかいふやうな[illegible]なるべくこの人の[illegible]がつて行く必要がある

江口　人の貯蓄をしらべ立てるといふことは、まことにいやなことである、併しそれをやらねば貯蓄增強に[illegible]な結果が得られない、一戶當り幾らくと貯蓄額をヘッキリ[illegible]てもらふことは[illegible]ものにとつては至極便利なことである、ところが、その結果、規定額に達したものは、餘力があつてもやらない、といふやうな弊害も出來て來る、[illegible]に短いものはたすきには少し長すぎるし、世の中はなかなか當方の思ふやうにならないものではあるが、その思ふやうにならない點を幾分なりと思つた方面に近づけて行くのが、人間の努力であつて、努力の甲斐はないといふことに成果は生れない、貯蓄運動も、また然りといふべしだ

座長　目標の資料になるのではないかといふので調査を忌避するといふことは、事實ありますか

江口　ありますネ、むしろ大ありです

原田　それを嫌はれないやうにやらうといふんだからなかなかむづかしい

佐藤　ホントに金をためる人はコッソリためる、おれは幾ら貯金してゐるなどと大ピラにいふ人は、あまり大した金額は貯へて居らない、この邊の呼吸をよほどうまくつかんでかからぬと、理屈だけでは駄目です

安部　先程どなたかのお話の[illegible]新竹市では實行してゐるとでありますが、私のところでもこれを實行にとりかかる積りです[illegible]本島人の婦人は內地人よりも三分[illegible]い持つてゐるものをかくす習慣がある、現金でかくして持つてゐるとか、貯金してゐるとかどちらも隱したがる

柴滿　かういふやうな事にしたらどうですか、調査々々と改まるから事が面倒になると思はれますから調査とかお前さん隱してゐるンぢやないか……などとはいはないで、あんたの貯金は所定額に達してゐないぢやないか何んとかせんといけませんネといふ風に水を向けると、足らんところは埋めなければならぬといふ氣持にもなるし、現在貯金して持つてゐるのなら、こちらの方に殘らくあつたといふことになるンぢやないですか無やみに疑しつめないで、不安な氣持を起させないで、持つてゐるものを素直に出させることでも、國民、四分の一に達してゐる人々に對しても四分の一には達したが、それだからといつてなかなか居られるわけのものではないほかでは[illegible]められた額にも[illegible]しないところもあるンだから、あんた方のやうに餘裕のある方はそれらの人々の分をも補ひきつけねばならぬ……と、大いにこれを[illegible]する

工藤　貯蓄々々と申して、ただ[illegible]に[illegible]子ばかりを追つかけてゐると出來た結果は思ひがけないものになる、只[illegible]に甲の銀行[illegible]の貯金を乙の銀行に振替へたに過ぎないことになる、それでは一貯[illegible]をお[illegible]にはならぬ、との[illegible]を[illegible]ある、どこそこの會社の[illegible]さんといつたところの人は此の頃のやうにお[illegible]かりがふえて、何やかやと出し前が多くはなつても、大たいは[illegible]まつて行く、次にトンくで行ける組はまだよいとしてトントンにやつて行けない方になるとこれにはかなり手加減が入るわけで、さういふ點を、第一線の區長さん方は、よほどよく心得て置かねばなるまいと思ふ

江口　只今の佐藤さんのお話ですが、三つの階級と申してもそれは多分、臺北市內のやうな優秀な區域に於いて話して居られるので一步、田舍へ踏み込んだら、三つの區別なんかありやしない、トントンで行くのも無理でまれであつて足らんくの組が、殆んど大部分を占めてゐる、卵を產むことはわかつてゐても、やはり產ませなければならぬ羽目に置かれてゐる、さうした班の世話役をつとめることは、ナカく平らい仕事である

柴滿　私どもの區內は四十六班に訓れて居りますがその各班に亙つて四分の一達成が可能であるかどうかを調べて見ますると、四十六の中の二班だけが、班として所定の一線まで逃避することが出來ないでゐる、だからこの二班の足らない部分を、他の四十四班で肩代りしてこれを補つて行きさへすればどうやら今後としての成績を完了することが出來る

座長　[illegible]

佐藤　われくの生活[illegible]に[illegible]三つの型がある、トンくで行くのと、足ら[illegible]いても足らぬのと、[illegible]りのあるのとかう三つ

座長　調査して出した[illegible]の[illegible]ればそれ以上やらせないといふ弊害が出て、一の段階にとまつて、次の段階に飛躍するといふ意味ではなく、一の段階に準備といふことになりますか

佐藤　貯蓄の現狀がどうなつてゐるか、どのやうなバロメーター[illegible]があるか、これはお互ひに知つて置く必要がありますネ、はつきりして居ない點には[illegible]も[illegible]でありまして、とにかく[illegible]……といつて、それを[illegible]しないわけではない

柴滿　[illegible]の必要が[illegible]といふのなら[illegible]は別だが調査の必要がどうしてもあるとすれば、[illegible]應しておいて貯蓄を[illegible]と[illegible]ふことにつとめ[illegible]が[illegible]……

最終日に一括志願

新竹市 總數七千名に迫る

【新竹電話】志願兵志願受付最終の日の十日新竹市では朝から香山その他の區會から一括して志願書を提出するもの多く午前中丈で三百名を數へ九日迄の總數六千四百三十九名を加へて總數は先づ先づ七千名になるものと見られ州下各地の總數は九萬八千名を超える豫定である、尙市では十三日より六日間の豫定で[illegible]檢査を行つて[illegible]に[illegible]する事になつてゐる

"新聞紙一枚"の赤誠

ヨイ子供達の獻納運動

【基隆電話】基隆市國民學校兒童たちは八日の大詔奉戴日に"私たちも何か御國に盡しませう"と、一人新聞紙一枚を獻納し集つた新聞紙を賣つて得た金を國防獻金したが今後も每月八日に一人一枚の新聞紙獻納を續ける事になつた

基隆市奉壯團 新團員入團式

【基隆電話】決戰下基隆市國民運動の中核體として[illegible]に[illegible]成果を擧げてゐる奉公壯年團では[illegible]

今夜の番組

【第一放送】▲六・〇〇　少國民の時間、シンブ[illegible]、[illegible]「久米の歌」…岩田直二他▲六・三〇[illegible]、管絃樂[illegible]大東亞戰爭行進曲集[illegible]▲六・五〇、青年の時間（臺北のみ）[illegible]▲七・三〇[illegible]▲七・五〇、[illegible]▲八・〇〇、浪花節[illegible]▲九・〇〇、ニュース、今日の戰況とニュース

【第二放送】▲六・〇〇、少國民の時間、シンブン（東京）[illegible]▲六・三〇[illegible]▲六・五九時報▲七・〇〇、客語ニュース▲七・一五、國語ニュース、[illegible]▲七・四〇、青年の時間[illegible]▲八・〇〇、國語普及講座[illegible]▲八・二〇、[illegible]▲八・四五[illegible]▲九・〇〇[illegible]▲九・二〇、[illegible]ニュース、[illegible]番組豫告

後三國志（20）

吉川英治作　矢野橋村畫

（赤壁の卷）

私情を斬る（一）

[illegible]

食血性なき大蒜製劑

盗汗・結核に　スクナ（マルホ）

第一—15回注射による　盗汗治癒率　重症86.7%　中等症83.3%　輕症93.2%

（文獻贈呈）製造發賣元　株式會社　マルホ商店

大阪市東區道修町三丁目

第5次予約賣出

有利な利廻と先の樂しめる安心の出來る集團的貯蓄法

藤本の投資信託

說明書差上げます

大阪市東區北浜二ノ八

藤本證券

痔と皮膚疾患に

頑症の

カミッスク

[illegible]

臺灣日日新報
本日夕刊共六頁

大東亞戰下再び迎ふ、紀元節祭の御儀

畏し　天皇陛下御親祭

【東京電話】畏くも紀元二千六百三年大東亞戰爭下再び迎へる今日十一日の紀元の佳節に當り畏くも宮中におかせられては
天皇陛下御親祭の下に嚴かなる紀元節祭の御儀を執り行はせられる、この朝三殿には三條掌典長以下奉仕して御儀が進めさせられ畏くも
天皇陛下には午前十時御束帶黃櫨染御袍を召させられて賢所に出御、御玉串を御手に御拜禮、御告文を奏せられ皇靈殿、神殿にも御同樣の御儀を行はせられて入御、次いで
皇后陛下の御代拜をお里小路女官
皇太后陛下の御代拜を沼岡事務官が奉仕、各皇族殿下の御拜禮、參列諸員の拜禮あつて御儀を終へさせられる、尚[illegible]より御神樂の御儀があり
天皇陛下には午後五時再び皇靈殿に出御、御拜禮、次いで諸員奉仕して御神樂は夫々に奏せられて神慮を慰め奉り深更に及んで終へさせられる
此日大和橿原神宮には勅使室町公藤掌典が參向、御幣を執り行はせられるが宮中御饗宴の[illegible]は時局を御軫念あらせられて本年も昨年と御同樣御取止め遊ばされると承はる尚この日午前九時から午後四時まで有資格者に參拜を許可される

社會事業に御內帑金御下賜

內相恐懼謹話

【東京電話】畏くも天皇陛下におかせられましては[illegible]社會事業團體の御思召を以て優良私設社會事業團體に對し年々御內帑金下賜の有難き御沙汰を賜つて居りますが、本日紀元の佳節に當りまして又復全國の斯業優良團體に對し御下賜の御沙汰を拜しましたことは洵に恐懼感激に堪へない次第でございます、本日御沙汰を拜しました團體は[illegible]內務省關係は[illegible]七團體、合計百二十二團體の多きに達して居りまして[illegible]の廣大無邊なる[illegible]者は申すに及ばず各地[illegible]齊しく感泣致す所でございます、この有難き思召しは[illegible]に朝鮮總督、臺灣總督及[illegible]大臣官に相傳へ官民と[illegible]力二[illegible]の聖旨に副ひ奉らんことを期する所存でございます

青木大東亞相謹話

【東京電話】畏くも天皇陛下におかせられましては紀元の佳節に當り優良私設社會事業團體に對し御內帑金下賜の思召を以て御內帑金下賜の御沙汰あらせられましたことは洵に恐懼感激に堪へない次第であります、今回御沙汰を拜しました大東亞省所管の團體は[illegible]十六團體、合計十八團體であります、[illegible]ずる處はこの[illegible]御趣旨を奉じ[illegible]する所であります

司法保護團體に御內帑金賜る

岩村法相謹話

【東京電話】本日紀元の佳節に當りまして畏くも全國二百六十六の優良司法保護團體に對し御內帑金御下賜の御沙汰を拜しました事は誠に恐懼感激の極みであります、今や時局は大東亞戰爭完遂の爲め一億國民悉くその全力を捧げ皇國の興隆として[illegible]べき秋でありまして、たとへ國民の一人と雖も國家公の[illegible]ものがあつてはならないのであります、司法保護事業の[illegible]大きを加へ來つたものと申さなければなりませぬ、私共司法保護事業に關係致しますものは本日の聖旨を[illegible]く銘記し奉つて[illegible]して國家公の[illegible]部の[illegible]一に[illegible]する次第であります

戰力增强等の決議案取扱ひ

廿日過ぎ上程

【東京電話】衆議院では今期議會の使命に鑑み戰力增强を[illegible]する爲め[illegible]決議案の[illegible]を[illegible]十日午前[illegible]を中心に協議を行つた結果、右決議案は[illegible]法案審了後二十日過ぎの本會議に上程、全會一致を以て可決[illegible]衆議院の意嚮を中外に闡明することとなつた

太平洋敵米軍の全力牽制

東亞外壁攻勢の足場固む

南太平洋方面の戰況報告

【東京電話】十日の衆議院豫算總會における陸海軍を代表する政府委員の南太平洋方面戰況報告左の如し

南太平洋の作戰について（昭和十八年二月政府委員）今般南太平洋方面の戰況に關し大本營より發表せられた件はこれに基き陸海軍を代表して戰況を敷衍して說明致します

南太平洋方面作戰經過

南太平洋方面においては昨年八月七日米海兵隊約一師團が有力なる海軍部隊の下にガ島ツラギ等に上陸し五月下旬以來ガ島に位置せしわが海軍小部隊と交戰中なりとの通報に接するや陸軍は直ちに太平洋方面に行動中の某支隊を急派し次で爾他方面よりも兵力を抽出增遣した、派遣せられたる第一線指揮官は戰況の緊迫に應じ[illegible]たる海軍部隊の危急を救ふため獨力優勢なる敵に對し攻擊を敢行し或る部隊の如き敵中深く突進し

敵飛行場にも進入し

以て敵に大なる打擊と脅威とを與へたのであるが、遂に敵陣地の[illegible]は目的を達するに至らなかつたのである、爾後更に兵力を增加して南太平洋方面における戰略的據點を設定し今後の大作戰遂行の基礎確立を推進するため敵をこの方面に牽制するの任に當らしめたがガ島の地上作戰に協力すべきわが飛行隊の兵力は僅少なりしのみならず、協力飛行場はガ島から一千粁以上も遠隔せる位置にありたるに對し敵軍は機械力を利用して短期間內に多數の飛行場を設定しこれに優勢なる飛行隊を逐次增派し來れるため、われはガ島方面の制空權を獲得することが出來なかつたのである、敵は制空上絕對優位の下に更に兵力を增加し飛行場周邊には堅固なるトーチカ陣地を構築するに至つたのである、わが作戰根據地より

海洋遙かに隔絕せる

この堅固なる陣地に對し然も敵制空下に遠く海上機動を行つて攻擊することは實に至難の業である、又ニューギニア方面における敵軍は濠洲を基地とする米、濠聯合軍である敵は既にポートモレスビーに蟠踞しありたる處わが軍に對し昨年八月頃より逐次兵力を增加して來た、わが一部隊は昨年七月上旬ブナに上陸し九月初旬スタンレー山脈の嶮を突破しポートモレスビー近く迫りたるも爾後の戰況上ブナ附近に轉進せしめ海岸線附近の部落を確保してガ島部隊と同樣に南太平洋方面における戰略據點を設定し今後大作戰遂行の基礎確立を推進するため敵を該方面に牽制するの任に當らしめた、斯くてソロモン群島のガ島並びにニューギニアのブナ附近の部隊のわが將兵は半歲の久しきに亙り酷暑且つ濕潤なるジャングル內にありて

あらゆる困苦缺乏に

耐へつつ孤兵克く敵[illegible]

ガ島ブナ方面作戰の戰術的意義

わが軍は比島マライの緒戰に大戰果を獲るや敵に息をもつかせず戰場を[illegible]に移り大東亞における敵の戰力策源と重要資源地域とを悉く神速果敢に攻略するためビルマよりスマトラ、ジャワ、セレベス、チモールを經てニューギニア及びソロモン群島の線に向ひ一擧に敵を急追したのである、このわが軍の[illegible]した[illegible]部隊がこのガ島及びブナ方面の部隊である、大東亞の戰略態勢及び重要資源地域を確保し[illegible]敵は濠洲及びその附近の根據[illegible]の下に新たなる[illegible]を得て直つて反擊に出たのである、ここにおいてニューギニア、ソロモン群島の線でわが追擊と敵の反擊とが[illegible]して

一大遭遇戰を惹起

したのである。[illegible]に依りガ島及びブナ方面に向ひたる[illegible]の前衛の役割に當り本隊の展開[illegible]確立を推進するため敵の反攻[illegible]たのである、抑々遭遇戰に於る前衛の任務[illegible]し或は要地を占領して敵を拘束しこの間わが[illegible]の自由を與ふるにあるのである、わがガ島[illegible]たる濠洲と米本土との連絡路を[illegible]は[illegible]所であり又ソロモン群島中及びその[illegible]航空基地たるガ島に對し[illegible]隊も同じく前衛の役割に當り獨力攻擊を敢行し[illegible]地を占領して本隊の展開掩護に任じたのである[illegible]力攻擊に依り濠洲及び米濠連絡路を[illegible]て米國は反擊に出で得る力を以てニューギ[illegible]擊退して來たのである

斯くてソロモン群島中

四國の半分にも[illegible]

頑強なる敵の反擊に對し常に果敢なる攻擊を以て之に損害を與ふるも尚克く要地を固守して敵を牽制しその間ビルマより南東印度諸島、北部ニューギニア、北部ソロモン群島を經てマーシャル群島及びその以北に亙る今後の大作戰遂行の基礎を確立する目的が達成出來たのでブナの[illegible]部隊は一月下旬ガ島の陸海部隊は二月上旬夫々撤退を開始して新任務に轉進せしめられたのである、兩方面の陸海部隊の撤退は敵機動艦艇の跳梁する中にわが軍の[illegible]下に敵を[illegible]せしめつつ整斉確實且つ悠々とこれを完了したのである

足ら[illegible]たる島とニューギニアの一角が日米遭遇戰の焦點となつたのである、この遭遇戰の焦點、就中ガ島にはわが艦艇部隊の一部が敵に先んじてこれに上陸しその一角を保持したのであるが[illegible]

何故にガ島、ブナ方面の

部隊が撤退したのかと言ふことを申し上げる[illegible]

南太平洋の遭遇戰にはこの後退戰術が採用せられたのである、その理由は次の通りである

一、統帥上の英斷について

[illegible]

孤立戰鬪の必要消滅

[illegible]

二、陸海軍の協同について

[illegible]

敵巡艦二隻を轟擊沈

イサベル島沖海戰戰果

【東京發】**大本營發表**（二月十日十五時）その後の詳報によれば帝國海軍部隊は二月一日以降同七日までにイサベル島南東方において左の戰果を收めたること判明せり

巡洋艦一隻轟沈、巡洋艦一隻擊沈、驅逐艦二隻擊沈、魚雷艇十隻擊沈、飛行機八十六機擊墜

尙この間におけるわが方の損害は左の通り改む

驅逐艦一隻大破、驅逐艦二隻中破、飛行機十二機自爆及び未歸還

〔註〕本海戰をイサベル島沖海戰と呼稱す

三、軍隊の辛苦と功績

[illegible]

一握りの糧を互ひに

分ち合ふ[illegible]

日本兵は犧牲的精神を

[illegible]

この勇士達の仇は必ず

討たねばならぬ[illegible]

米國の政治に何處に正義

や人道があらうか[illegible]

進んで彼等の心臟部

に我がメスを加へなければ[illegible]

人事

▲井上三二氏（[illegible]）十一日[illegible]
▲坂本信道氏（彰銀頭取）[illegible]
▲山口勝氏（[illegible]）[illegible]
▲本山文平氏（[illegible]）[illegible]

氣管支喘息專門
ひろ
喘息藥
（藥散）
ぜんそくの苦しみを救へ！
頓服で効く！
發作の時　頓服の時　一服
用心の時
價　一圓・二圓・五圓
東京下谷御徒町三丁目
[illegible]
全國藥店に有り

B6
パピリオ
クレーム三種、AとBとCあり。
粉白粉十二色（新しい肌色四種）
ほゝ紅十二色　口紅八色
東京麻布本村町　伊東化學研究所

よい子によい雜誌を

少年倶樂部
少女倶樂部
幼年倶樂部
コドモヱバナシ
お子様方の課外讀物はこの中から
二月號發賣（定價各五十錢）
○書店にありお早く！
二大繪話　▲コウヘイノハタラキ　▲クマサントダイコン
大日本雄辯會講談社

東京高商教授　中川一男著
現代世界史概論
國際事變を中心とする各民族の世界、日獨伊新興國家の活躍、第二次歐洲大戰、世界史的見地より見たる大東亞戰爭、大東亞戰爭を觀る世界情勢等を解明したる最新の「日本を中心とする世界史」である。
大日本佛教會編纂　西方宗教とその諸問題
中川一男著　西洋中世史新論
用合安雄著　新式商業簿記精義
商工業を背負つて立つ青年の必讀書
東京・小石川　振替東京五三一二二
東京開成館

東京商工會議所編　新刊
配給所の使命と其實務
B6判322頁　價2.20　送（外地）.30
水谷乙吉著　新刊
佛印文化史
B6判218頁　價2.20　送（外地）.30
王子製紙株式會社編　改訂版
紙業提要
B6判790頁　價5.50　送（外地）.30
同編　三椏及三椏紙考　A5判341頁　價3.00　送.30
同編　楮及楮紙考　增訂版　A5判203頁　價3.00　送.30
東京日本橋　臺北本町一丁目　丸善　大阪・京都　名古屋

社説

紀元節を奉祝し奉る

一

本日は　皇祖神武天皇が橿原の宮居に於て天津日嗣の御位に即かせ給ひてより第二千六百三年に相當する日であり、この肇國御創業に因みて『上は則ち天神の國を授け給ひし徳に答へ、下は則ち皇孫の正しき道を養ひ給ふの心を弘めん、然る後に六合を兼ねて以て都を開き、八紘を掩ひて宇とせんこと亦可からずや』と宣はせられここに八紘爲宇の大御心こそ我が肇國の理念であつたことが明らかにせられてゐるのである　明治天皇の御製に　"橿原のとほつみおやの宮柱たてそめしより國はうごかず"と御示しになつた通り、皇位連綿百二十四代に亙る悠久[illegible]の間國礎微動だもせず、而も一昨年十二月八日對米英宣戰の御詔勅降下以來皇軍連戰連勝を以て偉大なる戰果を收め、今や大東亞の天地に我が兄弟民族と共に見るにも晴しきアングロ・サクソンの徹底的締め出しに鋭意努力しつつあるのである、宣戰後第二回目の紀元節ながらことしも又新たに感激の心を以てこの日を迎へ得ることは何たる祝福であらうか。

二

紀元節制定の沿革を見るに明治五年、それより過去に遡ること二千五百三十二年を以て橿原宮に即位ましました年としてそれを紀元元年と定め、更に太陽暦を以て御即位の日を推算すれば恰かも一月二十九日がそれに相當する、そこで明治五年十一月十五日布告を以て此の日を紀元節とする旨を政府より發表したが、其の第一回の祭典は明治六年の同日を以て行はせられ群臣を召して酺宴を賜うたのであつた、當日の勅語に曰く

朕茲ニ紀元ノ吉日ヲ祝シ群臣ヲ會同シ酺宴ヲ張リ舞樂ヲ奏セシム汝群臣朕カ懷ニ體スルノ意ヲ體シ共ニ能ク歡ヲ盡セヨ

この勅語に對しては太政大臣三條實美が群臣を代表して恭しく奉答をしてゐる、其の後に至つて一月二十九日は推算の過誤であつて、二月十一日が正確であることが發見せられ、明治七年以來この日を以て祭典を執行し群臣並に外國使臣に酺宴を賜はる例となつて今日に及んでゐるのである、然るに聖上陛下におかせられては本日宮中三殿に於て畏くも紀元節祭を御親祭あらせられるが、御例の御酺宴は本年も行はせられざる旨仰せいだされ此の御取止めはこれで六回も續いてゐる次第で、前線將兵の勞苦を偲ばせ給ふ大御心のほどが拜察せられ洵に畏き極みである

三

今や昭々たる御稜威の下、わが皇軍將兵は陸に海に赫々たる戰果を擧げ米英擊滅の聖戰は刻々その目的を達し八紘爲宇の大理想は將に大東亞を掩はんとしてゐる、銃後にあつても赤誠に燃えて一致團結して議政壇上では十八年度一百億圓の本豫算と、二百七十億の臨時軍事費特別會計追加豫算案をば滿場一致を以て即決通過した、茲にも一億一心、わが軍官民が一體となつて總力戰を戰つてゐるのだといふ國家國民の意氣と氣合が滂々と現はれてゐるのである。吾らはこの意中に迎へる紀元節の嘉辰に深く思を致し天皇陛下の萬歳と皇軍の彌榮を祈念し奉り、更に海陸萬里の外にあつて東亞の大建設のために奮戰しつつある忠勇武烈の將兵に對し深甚なる敬意を表しその武運長久を祈るものである。

皇紀二千六百三年紀元節

決戰・總力發揮の突擊

國體の精華宣揚　長谷川總督談

大東亞戰爭第二年の決戰下に迎へた感激深き皇紀二千六百三年の紀元節に際り長谷川總督は『我が國體の精華を宣揚すべく先人の輝ける歴史、並に陸海將士の赫々たる戰果に應へて全島民は更に一層決戰意識の強化、總力の結集に突擊せよ』と左の如き談話を發表した

紀元節に際りて

我大日本帝國は本日茲に皇紀二千六百三年の紀元節を迎へました、時恰も我一億國民が大御稜威の下總力を結集し大東亞戰爭第二年の決戰に邁進しつつある秋にあります此の日此の秋に當り我等國民は謹んで天皇・皇后兩陛下を始め奉り竹の園生の彌榮を壽ぎ奉るとともに遠大なる皇國の下三千年の光輝ある歴史の中に育まれたる感激に浸しまして只々『國民苦』の感激と『國の御祭』たらん感激の新なるを覺ゆるのであります

惟みて惟ひますに皇祖天照大神の天孫瓊々杵尊御降臨に際り

豐葦原ノ千五百秋ノ瑞穂ノ國ハ是レ吾カ子孫ノ王タルヘキ地ナリ宜シク爾皇孫就キテ治ラセ行矣寶祚ノ隆エマサンコト當ニ天壤ト窮リナカルヘシ

と厳然たる神國日本の國體を宣へ給うたのであります更に

神武天皇は

八紘ヲ掩ヒテ宇ト爲サム

と建國の根本精神を宣揚せられたのでありますが爾來皇國は此の聖旨を相承け相繼いで茲に悠久三千年の金甌無缺の國體を保有しその國威を世界に宣揚し來つたのであります

古代既くも我國民は海外に及び近世一時惜くも鎖國の消極策を取つた事はありますが維新とともに果然我國民は雄大に昇る旭日の如く四海にその光輝を發揚したのであります

日露の役に於て先づ西力東漸の一部の野望を遮斷し東亞民族に感激の黎明を告げた日本は年月とともにその國力を發展し東亞民族を導いて立たんとするや米英の壓迫は愈々執拗なる妨害となつて現れ、遂に今次大戰の勃發を見るに至つたのであります

大東亞戰爭が大東亞共榮圏の確立、世界新秩序の建設を目的としてをり、それが建國の大精神たる「八紘爲宇」の具現にあることは今更に喋々を要するまでもない、明白な事實であります、而して今や米英の反擊熾烈を加へて參りまして必死の[illegible]を示し來り

期に本年こそは決戰の秋なりと申して過言ではないのであります、即ち大東亞戰爭第二年がわが國民に切望して已まない所のものは從前に倍加する決戰意識の強化であり總力の結集であり、殊に明日の十トンより今日の一トンといふ生産力増強であります、今日紀元の佳節に際り島民たるものは宜しくこの重大時局の由つて來たる所を深く認識し、更に必勝不敗の決意と熱意を以て世界無比の我國體の精華を彌が上にも昂揚すべく戰爭目的の完遂に總力發揮の突擊を敢行して偉大無比なる皇國の興隆に一に邁へ進まねばならぬとともに先人の勲功に後れをとらざる様各位の奮闘を祈つて止まない次第であります

敵艦擊沈破一四五隻

九九六機を擊墜破

ソロモン中心綜合戰果

【東京電】イサベル島沖海戰の戰果追加發表に依り第一次ソロモン海戰以來即ち昨年八月七日から本年二月七日まで半ケ年間にソロモン群島を中心とする南太平洋海域において帝國海軍が擊沈破せる敵艦船は實に百四十五隻、飛行機擊墜破九百九十六機以上と言ふ多數に上りその內譯は次の如くである

	擊沈	大破	中破	大破又は中破	計
戰艦	六	一	三	〇	一〇
空母	四	二	二	〇	八
巡洋艦	三六	五	一	〇	四二
驅逐艦	二二	七	三	五	三七
潜水艦	九	一	〇	〇	一〇
掃海艇	一	一	〇	〇	二
魚雷艇	一〇	〇	〇	〇	一〇
艦型未詳	〇	〇	〇	三	三
輸送船	一七	六	〇	〇	二三
合計	一〇五	二三	九	八	一四五

尙我方この間艦船沈沒は計四十四隻、飛行機自爆及未歸還二百三十六機、大破三十一機の尊い犧牲を出してゐる、而して今次の作戰に依り我はソロモン水域に[illegible]を所職せしめてゐたことが明かにされたが、この一事を以てしてもアメリカが現存新銃あらゆる大小艦艇を南太平洋方面に集結して同方面の戰局挽回に[illegible]に或は我の如くソロモンより北上して日本本土進攻に汲々としつつあるかが窺はれる、然も敵アメリカはソロモン海域に喪失せる艦船百四十五隻及び一千機に垂んとする飛行機損失についても時々小出しに發表を行ふのみで飽くまで糊塗とする頰被り政策を固執しつつあり、その痛手を國民の目から蔽はんとし、その半面鬼面人を嚇かす如き新兵器或は新造艦船相次で竣工説の誇大宣傳を行ひ殊に最近に於る新鋭主力艦の宣傳の如きはインターナショナル記者の新主力艦試乘記まで動員して居り、それに依れば新説四萬噸の主力艦『ニュージャージー』は五哩四方の假想敵隊に命中彈を浴びせ米國艦隊に同時でも加入出來る事を示し又[illegible]の活躍する洋上を五百哩航り無事に航行する等殆ら兒戲に類する誇大の宣傳振りは多數艦船の喪失に慌てた國民の[illegible]政策に躍する[illegible]の苦悩を如實に物語る一證左として笑止の限りである、ソロモン海域のみにおける擊沈破艦船百四十五隻飛行機九百九十六機以上喪失こそ蓋し敵アメリカにとつて物心兩面における大痛手にして各方面に及ぼす影響はまさに甚大なものである

國防獻金一億五千萬

海軍側も使途內容說明

【東京電】武井海軍經理局長は十日午前の衆議院豫算第三分科會に於て海軍に寄せられた支那事變以來の國民の國防獻金、恤兵金の狀態を次の如く說明した

武井經理局長（談話）

國防獻金としては一億五千八百三十五萬五百八圓、恤兵金としては六千三百四十九萬八百五十六圓、同愛國恤兵資金として九百八十二萬七千八百三十圓內に恤兵品二千五十九萬八千九百四十五圓、この見積價額一千百九十二萬七千四百二十一圓と推定され合計額は二億四千三百五十九萬六千二百十六圓の巨額に達してゐる、これは本年一月二十日締切りの數字である、受理した件數は二十五萬件になつてゐるがその中には數百人數千人の獻金品を一括にしたものが相當あるので恐らく員數を計算すれば數千萬人に上り殆ど國民全部の熱誠がこの獻金品の中に集まつてゐると云つてもよいと思ふ、殊に開戰一周年に當る昨年十二月八日には直接海軍省において受理した金額が約百六十五萬圓獻納者が一萬數千人に上つたと言ふ狀況である、尙この際申し上げたいことはこの獻金の中に朝鮮の同胞から寄せられたものが約千七百餘萬圓、臺灣の同胞からのものが三百五十萬圓、滿洲國人及び在滿同胞からの獻金が七百萬圓、中華民國人及び在華同胞からの獻金が約二千五百萬圓、その他海外同胞からの獻金二百餘萬圓と言ふ數字が擧げられてゐることである、海軍の將兵一同はこの熱烈なる國民各位の海軍に對する御援護に對して深く感銘してゐる、獻金品の額を支那事變と大東亞戰爭開始以來とに分けると支那事變中に八千九百六十五萬七千八百七十二圓、大東亞戰爭開始以來の額が一億五千三百九十一萬八千三百四十一圓と言ふ數字になつてゐる、その使途については第一に獻納者の意思を尊重すると同時に海軍がもつとも必要と考へる方面に使用すると云ふ考へから海軍大臣を委員長とする委員會を設けてその額を總た上で慎重に決定してゐるが國防獻金は今日までに製作したものが飛行機千九十五機、兵車、自動車、探照燈、聽音機などの兵器類四千三百七十一點、內火艇三十四隻、外に若干飛行研究費、[illegible]などに充當されてゐる

臨軍費を可決成立

昨日の貴族院本會議

【東京電】十日の貴族院本會議は午後一時四十六分開會、先にレンネル島沖海戰に對し院議を以て感謝決議に對する現地最高指揮官からの返電を披露、次で日程に入り衆議院送付の臨時軍事費追加豫算案を議題とし、賀屋藏相より提案理由の説明あり委員附託の後午前の豫算總會で可決された臨時軍事費追加豫算案を上程、林豫算委員長より審議經過を報告の後滿場一致可決、此處に總額二百七十億圓に上る臨軍費は議會提出後、僅か三日にして成立、決戰第二年を勝ち抜く我が完勝態勢は成つた、次で日程に入り

一、石油專賣法案

一、塩料局特別會計法案

（以上政府提出衆議院送付）

の二件を一括上程、岸商相より提案理由を說明委員附託

一、北海道拓殖銀行株式會社所屬鐵道外十一鐵道買收の爲公債發行に關する法律案外一件

を上程、賀屋藏相提案理由を說明、委員附託とし

一、公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案外一件

を上程、橋田文相より提案理由の說明を行ひ委員附託、次で

一、國民保險法中改正法律案、外一件

を上程、井野拓相提案理由を說明委員附託とし

一、在滿日本人の身分に關する法律案

一、在滿國裁判の效力に關する法律案外一件

を上程、[illegible]委員長報告通り可決

南太平洋戰況報告

きのふの衆院豫算總會

【東京電】十日の衆議院豫算總會は午前十時七分開會直ちに陸海軍を代表して政府委員より南太平洋方面の戰況報告に入り、洋戰線に陣歿せる勇士に[illegible]の意を表し皇軍將兵の武運長久を祈る爲一分間の默禱を捧げ同十一時[illegible]了した

決戰下、交易施策に協力

臺灣貿易會の發足

十日督府正廳で創立總會

臺灣貿易の綜合的調整並に運營の統制を圖り貿易に關する國策の立案遂行に協力することを目的とし交易營團所屬を共有する臺灣[illegible]臺灣青果同業組合、臺灣水産物輸移出入組合、臺灣[illegible]組合、臺灣[illegible]組合、臺灣[illegible]輸入組合、臺灣[illegible]組合、臺灣[illegible]輸移入組合組合員[illegible]等出席、本山設立準備委員長の[illegible]を行つた後、[illegible]の經過報告あつて議事に移り、貿易會定款、事業計畫、收支豫算に關する件を附議、原案通り滿場一致可決、役員の指名は會長（總務長官）代理須田[illegible]より左記の十名を指名決定

副會長　[illegible]

理事　[illegible]

[illegible]

終りに須田會長代理の[illegible]の如き挨拶を述べ同十時五十分終了、總督府と[illegible]の緊密なる關係を保ちつつ決戰下の交易施策に協力する本會は愈々本日より[illegible]

本會の機構は三部六課に區分、總務部の下に[illegible]、企畫部の下に[illegible]、輸出部、輸入部の下に[illegible]課を夫々置き各部課長の人選は創立總會に日中に決定される筈である

會長挨拶

本日臺灣貿易會の創立總會が開催せられ、目出度く其の發足を見るに至りました事は、邦家の[illegible]洵に[illegible]次第であります[illegible]

海軍關係大東亞戰

第二回死歿者行賞

殊勳甲　崎山少將外廿七名

【東京電】決戰下再び迎へる紀元の佳節、畏き邊りでは十一日附海軍關係大東亞戰第二回死歿者論功行賞の御沙汰あらせられ、この旨同日午前九時海軍省並に內閣賞勳局よりそれぞれ發表された、今回行賞の恩命に浴したる勇士は大東亞戰爭開始以來昨年七月迄の間に於て遠く南太平洋、印度洋の海上或は支那大陸各方面に於て赫々たる武勳を樹て壯烈なる戰死を遂げた將兵の一部で[illegible]も含まれてゐる、この內功績抜群にして殊勳甲の光榮を拜したるものは崎山釋夫少將以下二十七名である、崎山少將は同じく陣歿中の光榮に浴した高橋大佐と共にバタビヤ沖海戰に參戰、米大巡ヒューストン、濠洲[illegible]を擊沈するの偉功を建て山本聯合艦隊司令長官より感狀を授與せられたが、其後西太平洋に作戰中戰死を遂げたものである、田中光夫大佐はウエーキ島攻略部隊の指揮官として戰死した勇士で同攻略戰に於て勇戰、敵の十字砲火を冒して力戰、遂に壯烈な戰死を遂げ、その武勲上聞に達した、內田謹一少佐以下の十六名が何れも戰鬪中の[illegible]を遂げ、又野口保一中佐は比島攻略戰に小艦艇の指揮官として勇戰中敵潜水艦の攻擊を受け唯一人艦と運命を共にし壯烈鬼神を泣かしむる戰死を遂げたものである

海軍省公表（十一日午前九時）本日海軍陸戰將士の一部に對し論功行賞の御沙汰を拜したり、今回恩命に浴したるものは大東亞戰爭劈頭より昨年七月に至るまでの間に於て西太平洋、印度洋、支那大陸各方面に於て勇戰奮鬪せる將兵の一部にして[illegible]として慶賞せられたるは海軍少將崎山釋夫以下二十七名なり

殊勳甲（十七名）

功三旭二　少將　崎山　釋夫（鹿兒島）
同　旭三　大佐　高橋　秀夫（福井）
功三旭三　大佐　田中　光夫（佐賀）
同　小綬　中佐　野口　保一（長野）
功四旭五　少佐　內田　謹一（福井）
△横須賀鎮守府關係
功五旭六　特務少尉　田村　圭二（埼玉）
同　同　[illegible]太郎（青森）
同　同　兵曹長　增田　誠一（岩手）
同　旭七　二曹　井坂政三郎（茨城）
同　同　同　藤井　八郎（靜岡）
同　同　同　河人　正雄（靜岡）
同　同　同　柏尾　實（茨城）
同　同　同　沖　勝太郎（北海道）
△吳鎮守府關係
同　同　[illegible]　羽田　義夫（長野）
同　旭六　[illegible]　福原　正治（長野）
△佐世保鎮守府關係
功五旭七　二曹　森本　豊（德島）
同　同　同　上岡　信路（高知）
同　同　同　本村　勝夫（鹿兒島）
功六旭八　三飛曹　鍋倉　利男（鹿兒島）
同　同　一飛　後藤　修（大分）
△舞鶴鎮守府關係
功五旭五　特務少尉　芹澤　庄天（富山）
同　單光　同　外管　五二（京都）
同　旭六　兵曹長　吉田　[illegible]（金澤）
同　同　同　齋藤　武（福井）
同　寄色　同　清水　計作（新潟）
同　旭七　一曹　高井　文七（富山）
同　同　二曹　松田松太郎（山形）

陸軍關係　支那事變　第卅八回論功行賞

運輸通信業務職員、敍勲の光榮

【東京電】畏きあたりでは十一日に紀元の佳節を卜し支那事變關係陸軍支那運輸通信業務職員第三十八回論功行賞の御沙汰あらせられた、今回行賞の御沙汰を拜した者は支那事變以來北支方面にて鐵道の作戰に偉大なる貢獻を爲したる華北交通株式會社及び華北電信電話株式會社職員で其の中勲級の光榮に浴したる者は六千六百十三名で其の主なる者は左の如くである

華北交通
勲四　旭一　宇佐美寬爾
同　瑞三　杉原　三郎
同　同　下津春五郎
同　同　平田驥一郎
同　同　都　新一郎
同　同　太田　久作
華北交通
同　旭二　山口　十助
同　同　佐原　寬天
同　旭三　井上　乙彦
同　旭四　淺澤芳二郎
同　旭三　和田　芳男
同　瑞三　淺見　親

樞密院本會議

【東京電】十日の樞密院定例本會議は天皇陛下臨御の下に午前十時より宮中に開かれ原議長、鈴木副議長以下各顧問官、東條首相以下各閣僚、森山法制局長官その他關係官出席

一、友好及び文化的協力に關する日本國、ブルガリヤ國間條約締結の件

を上程、全會一致これを可決して同十五分散會した

滿國、蒙古政府文官に

勲章贈授與の御沙汰

【東京電】畏き邊りでは今回支那事變において滿洲國及び蒙古聯合自治政府文官で克くその職務に奉公し大東亞共榮圏確立に貢獻せる功績を嘉せられ勲章の贈與又は授與の御沙汰あらせられたその主なるものは左の如し

滿洲國政府關係
[illegible]

蒙古自治政府關係
旭三　現副主席　[illegible]
同　前副主席現大同[illegible]
同　現參議府議長　[illegible]

石油專賣配給

地方民需への方法注目

[illegible]

盧氏、老河口、徽州を

陸鷲徹底的爆擊

【○○基地十日發同盟】わが陸軍航空部隊は九日襄樊、[illegible]の爆擊と時を同じうして河南省盧氏（洛陽西南百五十粁）湖北省老河口（宜昌北方二百粁）安徽省徽州（杭州西方百粁）各地を襲擊大損害を與へた、[illegible]

またメラウケ爆擊

【リスボン九日發同盟】メルボルン來電、西南太平洋反樞軸聯合最高司令部は日本航空部隊がメラウケを爆擊した旨九日發表した

貴院豫算總會

臨軍費追加可決

【東京電】貴族院では十日午前十時十分より豫算總會を開き

一、臨時軍事費特別會計十八年度追加豫算案

一、[illegible]

の二件を原案可決した

轉廢業者の訓練所擴充

【東京電】國民勤勞訓練所[illegible]

船引揚げ順調

矢牧課長說明

【東京電】十日午後の衆議院豫算第三分科會に於て矢牧[illegible]より南方に於ける沈沒船引揚作業にあたる特設機構について[illegible]

四千百萬石

米買上げ發表

【東京電】農林省では[illegible]

農林省發表

[illegible]

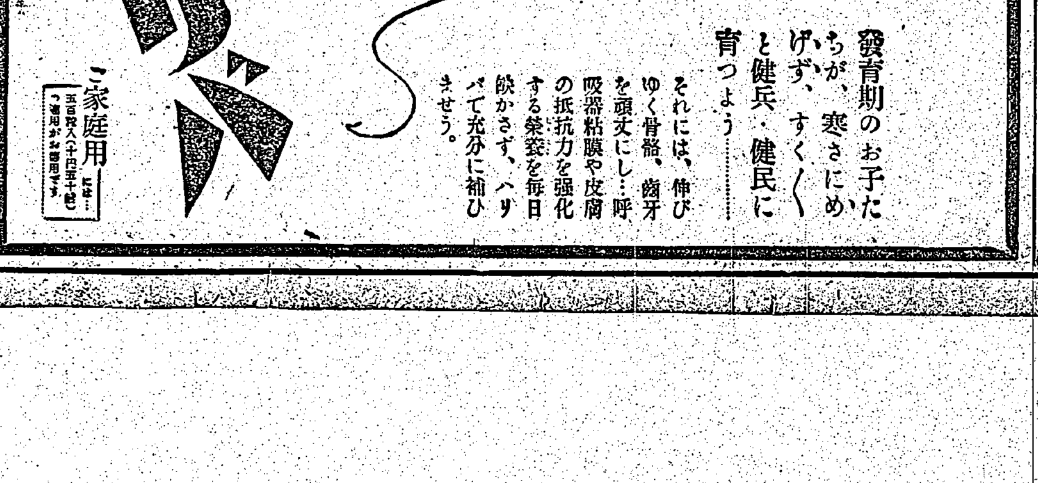
佐藤商政課事務官

[illegible]

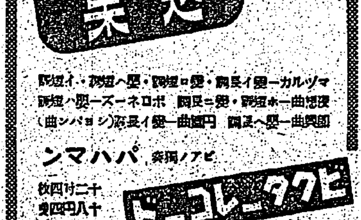
東京無線技術學校
無線技術講義
製圖講義

野村の投資信託
第二十次豫約募集中
一口・五百円
（説明書贈呈）
野村證券
台北市表町二ノ一〇

不動產金融
日本勸業銀行
台北・台中・台南・高雄



寒さに勝ち抜く
強い子を創れ
發育期のお子たちが、寒さにめげず、すくすくと健兵・健民に育つよう……
それには、伸びゆく骨骼、齒牙を頑丈にし…呼吸器粘膜や皮膚の抵抗力を強化する榮養を毎日缺かさず、ハリバで充分に補ひませう。
ご家庭用



二十世紀の奇蹟、ピアノの魔術師と謳はれるパハマン、この世のものとも思はれぬ、美しき藝術の全貌をさめた、冬夜絶好のアルバム！
パハマン選集
ビクターレコード

たんせき　せんそく
咳
龍角散
本舗　藤井得三郎商店

燦・皇威八紘に洽く

けふぞ祝ふ建國祭

學校教育研究論文

光榮の入選者決る

久邇宮御通下賜

一歩進んだ簡易裁斷の
洋裁が……自宅で習へる

基隆の映畫

第三期決算公告

燦・皇威八紘に洽く けふぞ祝ふ建國祭

一億の決意必勝へ鐵石

肇國日本が遂紀として悠久二千六百三年、けふぞ建國の佳節を迎へ、畏くも宣戰の大詔を拜して一年二ヶ月、南方の要域着々と確保され又南太平洋新作戰遂行の基礎確立し一億米英擊滅必勝の熱意に燃えさかるとき紀元の佳節を迎へたことは感激一入深いものがあり、感謝の歡びに感激、決意に身ひきしまる民草の胸中には正に建國の大詔を奉戴し欣然大東亞戰爭完遂への大勇猛心が燃え立つ決意となつて湧き上る、榮光燦と輝く佳節を迎へるに當り深く肇國の聖業を偲び奉ると共に宏遠なる肇國の大精神を體して興亞聖業に邁進しいよいよ必勝の信念を堅持して六百萬島民擧つて肇國精神を發揚し八紘爲宇の大理想の實現めざし銃後の本分の完遂を期さねばならない、

この日全島各地共意義深くも多彩盛儀な建國祭奉祝行事が催されるが臺北では左記の如く建國祭行事が繰展げられ、全市民を擧げて肇國の式典を盛大に擧行する事となつてゐる

◇…國旗掲揚

◇…國民奉祝時間
午前九時を期し各家庭及びその他職域で夫々宮城遙拜を行ふ

◇…御眞影奉拜式並奉賀式
官公衙、學校、會社團體で夫々擧行し必勝の祈願を行ふ

◇…紀元節祭
午前九時を期し各神社一齊に祭典を執行する、市民は成るべく最寄神社に參拜參列必勝祈願すること

◇…建國祭式典
午前十一時から新公園で軍部、官廳、團體代表者、消防、役所、等の代表參列の下に擧行する、國民儀禮ののち、紀元二千六百三年紀元節に賜はりたる詔書奉讀、祈念、式辭、宣言、決議、萬歲奉唱ののち閉式する

◇…翼賛大會
各町會分會單位に夫れ午前九時半に開催し宣戰大詔を奉讀し終つて市中行進に移り新公園の式典に參加する

◇…建國祭奉祝武道大會
午後零時半公會堂で開催する、弓道の諸儀、銃劍、柔劍道試合及び試合が行はれる

◇…米英擊滅祈願神社參拜行軍競走
各學校男生徒參加し午後二時半新公園スタート、各神社、芝山巖神社に參拜、臺灣神社決勝點に入る

◇…各種表彰傳達式
皇民奉公會中央本部での他州市で擧行される

私設社會事業團體に 畏し御內帑金御下賜

光榮に浴す九百四十團體

【東京電】畏き邊りでは御く紀元二千六百三年の紀元の佳節に當り全國各地の私設社會事業團體に對し事業御奨勵の畏き思召を以て御內帑金下賜の有難き御沙汰あらせられた、光榮の團體は各省所管を通じて全國九百四十團體に及び關係者一同は思召の程に恐懼感激申上げてゐる各省所管別は次の通りである

內務省所管　財團法人和光教團（東京）を始め百二十二團體

司法省所管　樺太矯正保護會（豐原）を始め二百六十六團體

文部省所管　私立函館盲啞院（北海道）を始め四十九團體

宮內省所管　門司港保育所組合（福岡）を始め三團體

厚生省所管　財團法人北海道社會事業協會（北海道）を始め四百八十二團體

大東亞省所管　財團法人大連聖愛醫院（關東州）を始め十八團體

光榮の四十三團體

紀元の榮光燦と輝く皇紀二千六百三年の紀元の佳節を迎へるに當り宮內省より社會事業奨勵の思召を以て本島在住四十三社會事業施設諸團體に對し夫々金一封御下賜の御沙汰あらせられた

林本源博愛醫院、財團法人艋舺保育園臺北支部、財團法人私立樂山園、臺灣愛護會、財團法人二林厚生會、財團法人臺灣婦人慈善會、財團法人存仁院、財團法人高雄同愛會、南大彰化慈愛院、財團法人佛教慈愛院、財團法人臺南愛護會、社會事業助成會、基隆同愛會、財團法人臺灣三成協會、基隆市社會事業助成會、臺灣總督府樂生院、時安會、財團法人新竹市方面事業助成會、財團法人臺中市方面委員事業助成會、財團法人臺南市社會事業助成會、東本願寺慈光園、高雄天主公教會孤兒院、財團法人臺灣社會事業協會、旗山信用組合國千壽會、財團法人臺灣婦人慈善會、財團法人屏東救濟院、財團法人彰化市方面委員事業助成會、財團法人臺北仁濟院、財團法人高雄市方面委員事業助成會、財團法人臺中慈惠院、財團法人新竹慈惠院、財團法人澎湖救濟院、屏東社會事業助成會、宜蘭市社會事業助成會、北斗郡トラホーム治療會、愛生會醫院、財團法人臺灣佛教龍華會、基隆慈惠會、財團法人臺北愛々寮

聖恩に應へ奉らん

長谷川總督謹話

大東亞戰爭第二年目を迎へた決戰下の紀元節の佳辰に方り畏くも本島社會事業施設四十三團體に對し夫々金一封御下賜の御沙汰を拜しましたことは洵に恐懼感激に堪へない次第であります、顧みるに大正十二年以來每年紀元節に際し本島社會事業の優良施設に對し御下賜金ありたる外天災地變の被害ある度每に御內帑金の御下賜あらせられましたことは島民の齊しく感激措く能はざる所でありまして、是偏に廣大無邊なる皇室の御仁慈の賜に外ならぬのであります、今や帝國は一切を擧げて大東亞戰爭の完遂に總合戰力を集結し戰力增強の一途に邁進して居る秋に當り、此の優渥なる御沙汰を拜しました各施設並に關係者に於ては愈々責務の重且つ大なるを自覺し、聖旨を奉體して一層奮勵努力、現在の各

優良多子家庭顯彰

十名以上二百七十三家庭

「生めよ殖やせよ」の國策線に副ひ十名以上の子女を育てた家庭の子寶報國の勞苦と國家的貢獻を讃へる臺灣社會事業協會の第一回優良多子家庭表彰は既報の如くけふ十一日の建國の佳節を卜し表彰される、表彰の榮譽に浴した子寶部隊は左記の如く全島で二百七十三家庭であり、その內譯は十四名の子女を持つもの四家庭、十三名の子女を持つもの十一家庭、十二名の子女を持つもの二十八家庭、十一名の子女を持つもの七十三家庭、十名以上は百五十七家庭となつて居り、いづれも父母を同じくする腹出の子女十人以上を既役軍隊や天災事變その他已むを得ない事由のほか一人も缺かさず自ら心身健かに育てあげその父母も世の模範とするに足る——

といふ表彰條件に適つた折紙つきの優良多子家庭ばかり、しかもその子女のあるものは現に銃を執つて戰ひの野に或は、白衣の天使となつて既に傷つき病んだ勇士を慰めまた工場で鑛山で生產擴充に、或は食糧增產の第一線にそれぞれ挺身し、はたまたその幼きものは次代の大東亞建設の貴き使命を擔つて家庭に待機してゐるのだ

この晴れの表彰狀傳達式はけふ十一日、建國の佳節を卜し各州廳或は各市郡街庄で夫々擧行、[illegible]

◇十四名の子女を有する者（四名）

扶養者　男　女

[illegible]

◇十三名の子女を有する者（十一名）

[illegible]

◇十二名の子女を有する者（二十八名）

[illegible]

高砂族戸籍制度確立

本島山地行政の大進展

山地居住の十萬高砂族にとつて待望久しかつた戸籍制度の確立はいよいよ今日十一日の紀元の佳節を卜し官報を以て公布實施された、從來山地居住高砂族は法的には無籍者同然であつたが志願兵制度、義勇隊へ示す烈々たる赤誠に鑑へ且つは身分關係をして公的に證明し得る戸籍の必要に迫られたので戸口規則の一部を改正、山地居住高砂族にも戸籍を有たせる事としたもので時に皇民錬成の一大成果であり理蕃行政上劃期的意義をもつものと云へよう

戸口規則の一部改正による山地居住高砂族の戸籍制度確立實現に際し山內警務局長は次の如き談を發表した

全島高砂族に適用

山內警務局長談話發表

皇紀二千六百三年紀元節の佳き日を卜し戸口規則の一部が改正せられ山地にも本籍を定め得る事となつた結果、山地に居住する高砂族の戸籍制度を確立するに至つたことは

理蕃 の一大進展を示すものであつて眞に欣快とする所である、從來と雖も全島の高砂族は一人殘らず高砂族戸口調査簿に登載せられ其の異動は明かにせられて居たのではあるが、之は戸口規則に基いたものではなく訓令に基いて制定せられたものであるので法律的に言ふと無籍者と同じ狀態であつたのである、從つて內臺人との間に養組婚姻等の起きる場合には煩雜な手續を要する等不便の點が少くなかつたのであるが、殊に最近高砂族の進化に伴ひ志願兵制度の實施適用を始め或は高砂族義勇隊として或は其の他要員として軍に協力する等其の社會的進出顯著の傾向を示すに至りたる爲、之が身分關係をして公の證明力を有する戸籍を確認する必要を認めたので茲に戸口規則の一部を改め市街庄を設かざる地域にも本籍を定め得ることとし多年の懸案たる高砂族の戸籍を確立した次第である、尙又茲に一言して置きたいとは

全島 高砂族に對しては、民法未だ施行せられて居なかつたのであるが今日以後は戸籍に關する法令を全面的に適用されることとなつたことで正に山地行政の劃期的意義を持つものといふべきであらう、故に之が取扱の衝に當る者はよく法令に通曉すると共に懇切に高砂族を指導し懇ろ事を處理して苟も過誤なきを期せねばならぬ、又高砂族諸君に於ても篤と島の意を體し益々皇民錬成の實を擧げ一日も早く眞に帝國臣民として缺くる所なき域に達すべく覺悟を新たにせられんことを切望して已まぬ次第である

譽れの子寶翼賛家庭（一）

急には言へぬ子の年齡

持出した生年月日一覽表

大東亞を背負ふ子寶十人以上といふ榮えある本島の「優良多子家庭」が決まりけふ十一日臺灣社會事業協會から表彰された、內地では既に厚生省が三回の表彰を行つてゐるが本島では今回が始めてであり、けふ建國祭紀元の佳節を卜し同會長森岡總務長官の表彰狀と記念品が傳達される子は國の寶、子はかすがひ……とかく子供はあるほど良いもの……だがこれを育つ親の身となればその勞苦は並大抵のものではない、『多子家庭のお父さん、お母さん』ようこそ、こんなに大勢のお子さん達を強く、明るく育てて下さいました……本社記者は熱狂に力強くも嬉しい話題をなげた子寶家庭の優勝者——臺灣全島の子寶家庭の探訪記である——

今回晴れの表彰を受ける子寶家庭二百七十三組の筆頭は十四人を育てた家庭でそれが四組もあつた、

臺北州下第一位の子寶家庭は十四人の陳炳俊さん（五三）だ

三峽よい所小粒な町……と小唄にまで唄はれてゐる

水鄉 海山郡三峽街の人である、陳阿蓮さん（五〇）との間に五男九女の子寶がある

これ勘くんぢやないよ、あれまた外出するよこの子は、ちやんと並んで寫眞とつて貰ふんだといつたら……

おもちや箱をひつくり返したやうな賑やかさに先づ記者を微笑ませた"四名不在、十名を集めましたよ"と主人の陳炳俊さんは說明する、そしてこの十名だけがカメラに入つた

おい 大正、人端の年はいくつだつたかなア、卅四、さうだつたねエ、卅一か

臺北州一の子寶部隊長もいざ十四人の子供の年を正確に斷定する段になると部隊長らしくなく、かくの如く心もとなく頭をかきつつやをら立ち上り、次の間に姿を消したかと思ふと古色めかしい板を持つて來た

これなら正眞正銘・ぜつたいに間違ひはありません

部隊長がはり切つて示したのは一家の氏名と生年月日を明記した一覽表であつた、そこで陳さん一家の子寶をここに紹介すると——

長男人端（三四）、長女碧霞（三二）、次男大正（三〇）、三男陽時（二八）、四男聰際（二六）、次女碧芬（二四）、三女碧容（二三）、四女碧蓉（二〇）、五男勝貴（一八）、五女碧珮（一六）、六女碧玫（一四）、七女碧芍（一二）、八女碧釵（一〇）、九女碧子（七）

といふ風にしめて五男九女、長男の人端君は明大商科出身街の產業組合に

次男 大正、三男陽時兩君は臺北二中を卒へ臺北商工學校出身の四男聰際君と共に父の經營する民營運輸で活動してゐる、長女碧霞さんは臺北三高女を卒業しばらく公學校の教員をしてゐたが臺北の某家に嫁し今夫と共に上海へ行つて居り次女碧芬さん、三女碧容さん、四女碧蓉さんの三姉はいづれも臺北三高女の出身で姉二人は今家にあつて母のお手傳ひをする傍ら幼き弟妹や姪たちを世話してゐる、碧容さんは昨春三高女を卒業すると同時に志願看護婦を志願し多勢の中から選ばれ本島人女性として最初の從軍を許され今〇〇の病院で前線から白衣をまとひ雄々しく活躍してゐる、五男の勝貴君は臺南工業に、五女碧珮さんは臺北三高女に、その他弟妹は國民學校に夫々在學中で一番末の碧子さんは幼稚園に通つてゐるといふ

元來陳家といへば三峽街屈指の素封家で先代陳國民は前臺北州協議會員から民國參事の要職をつとめ[illegible]炳俊さんは臺北州の議員、三峽街信用購買販賣組合長を始め幾多の公職や成福炭礦、海山輕鐵等の會社の社長又は重役をつとめてゐる、二十一のとき阿蓮さんと結婚したもので翌年第二年に一人の

子寶 をもうけ、乳母の手にもゆだねず自分の手で立派にこれを養育し今迄病氣らしい病氣をした事がないといふ健康の一家であり、しかも子女はいづれも中等以上の學校に出してゐる、炳俊さんは

子寶山ではあるが幸ひ嫁ふに困らぬだけの家產もある、男四名がいづれも成人し私の仕事を手傳つて貰つて居るが主義として自分の息子だからとて樂にさせちやいかん、息子も職人と同じく坑道の中に入り地下深い所で全身眞黑くなつて働かせてゐる唯もうどうにもならない惱みではあるが五男九女が反對に九男五女ともなれば……

陳夫人も傍らから

さうですねエ、うちは女が多いのでいい婿さんを探すに一苦勞ですね

と相槌を打ちながら語る、それは炳俊さんが子供さんを一人でも多く志願兵へと志願させ「若櫻」と咲かせたいとの烈々たる愛國の熱意のほとばしりであつたらう阿蓮さんに十四人を育てた苦心をきくと

子供 達はみんな運動が好きで小さい時から走つたり跳んだりしてゐたのでそのまま放任してゐたら不思議な程みな病氣一つせずめきめき育つただけです、世間で心配する程と苦勞もしませんわ

との『日本の母』は頼母しい、誠な笑顔を向けた庭園、その庭園には今を盛りと紅梅が咲き誇つてゐた、あたかも同家の繁榮を象徵してゐるかのやうに——

【寫眞は陳炳俊さん一家上段右から長女碧霞さん、四女碧蓉さん、五男勝貴君、五女碧珮さん】

學校教育研究論文

光榮の入選者決る

[illegible]

久邇宮殿下御下賜資金

[illegible]

優良青年團を表彰

[illegible]

社會教育功勞者表彰

[illegible]

感謝の獻金

[illegible]

ラジオ

第一放送

[illegible]

第二放送

[illegible]

一歩進んだ簡易裁斷の 洋裁が 自宅で習へる

[illegible]

今日の映畫

大世界　台劇　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場

臺北合同興行會社

今日の東寶國際館

基隆の映畫　基隆劇場　中央劇場　世界館　高砂劇場　旭劇場

第三期決算公告

第五期決算公告

第八回決算公告　怡美商事會社

國產スレート

會葬御禮　山中勝衛

岩切辰雄

臺灣俘虜收容所

診療開始御通知　松永齒科醫院

[illegible]

輝やく建國の夕

多彩の行事に赤誠披瀝

大東亞戰下二度目、輝やく紀元の佳節を寿ぐ「皇國奉祝の夕」は[illegible]行事のトップを飾って十日午後七時から公會堂で盛大に開かれた、建國の大[illegible]を仰し奉る[illegible]大東亞戰完遂に邁進せんと誓ふ決意に燃える市民が定刻前から陸續とつめかけ立錐の餘地なき盛況であつたかくて定刻[illegible]國民儀禮に次で主催者を代表し[illegible]市助役挨拶を述べて直ちに余興、三曲四部の出演にかかる三曲合奏、[illegible]の詩吟、和[illegible]、若翠吟[illegible]社中の舞踊・および、小唄、長唄、[illegible]の歌謡、[illegible]の吹奏楽その他[illegible]多彩な番組は繰り展げられ、[illegible]しめ最後に萬歳を奉唱して同十時ごろ奉祝氣分[illegible]の中に閉會した

興亞する汪氏の心

臺灣の發展に滿腔の協力を捧ぐ

着任の馬總領事語る

友邦中華民國國民政府の臺北總領事馬長發氏（五三）は十日空路着任、第一夜を北投佳栄閣別館に明したが、往訪の記者に對し着任の感想を左の如く語った

話せば古いことだが前清時代に東京の公使館に書記生見習ひとして住んだことがあり、その後京城總領事館に轉任、次に釜山總領事館に赴任する等前後二十四年間の日本生活により日本語を話すことが出來るまでになつたのです、勿論私は汪主席の興亞する心を以つて心とし飽くまで大東亞戰完遂に協力するつもりです、去る一月九日國民政府が盟邦日本との同生共死の大精神を以つて[illegible]米英を撃ち破る共同協定を結んでより今日、日本帝國は既に租界の國府還付、治外法權の撤廢、在華敵産の中國移管等と次々に暖い厚意を示してくれて居る、殊に租界還付による南京はじめ各地の歡喜は異常なるものがありました、私は南京に轉ずる前の昨年十月まで廣東に居たがその頃臺灣に二、三度立寄つたことがあるが、臺灣の事情には疎いので關係當局の御支援、御指導をお願ひする

臺灣は廣東をはじめ支那一部とは密接な關係にあるが今後益々緊密な聯繫を保ちたいと思つてゐる、物資の交流問題或は留學生の派遣其他の文化、交通上の提携に就ては國民政府に十分報告することとせう、私は政府の命により五萬人の在臺中國人を指導し共榮圈建設に確固たる地歩を占める臺灣の御發展に協力する考へです（寫眞は馬總領事）

國語常用へ邁進

郡吏員で奉公班組織實踐へ

河村淡水郡守率先垂範

【淡水電話】河村淡水郡守は大東亞共榮圈確立に伴ひ一月八日郡役所職員を以て奉公班を組織し二月八日の常會にて國語常用強化運動に拍車をかけ郡民の國語常用促進に先立ち郡役所職員から率先垂範國語の常用を實施し職員は勿論の事一般郡民に對して國語を以て用を辨ぜざる者は通譯を同伴する事とした、日本人は國語を常用する事、[illegible]の者は役所内に入るべからずと宣傳ビラ及ポスターなどで一般に通知し十一日の紀元節を卜して各街庄役場に於ても實行する様に通牒し又各商店にも國語常用を督勵し益々國語常用の強化運動を展開

高雄市新炭商組

合陸海軍へ獻金

【高雄電話】高雄市新炭商組合では島軍將兵に對する感謝の赤誠を披瀝する爲八日の大詔奉戴日を期して陸海軍へ各五百圓の恤兵金を醵出することとなり九日市警[illegible]を通じて獻金の手續を執つた

臺南州公醫

會議（第二日）

【臺南電話】臺南州公醫會議第二日目は十日州會議室で開會注意事項、[illegible]マラリア及び[illegible]民體力検査外五件に付いて野田衛生課長より夫々注意あり終つて十時半から大迫臺南醫院長[illegible]

ウーロン茶獻納

集る赤誠三萬斤

臺北市太平町臺灣茶[illegible]出張所[illegible]社代表田川[illegible]は陸軍將士慰問のため[illegible]香り高いウーロン茶二萬斤（時價五萬圓）を十日軍司令部並に臺北在勤海軍武官府を訪問、夫々獻納、軍當局より感謝された

高雄市蔬菜品評

會褒賞授與式

【高雄電話】高雄市の蔬菜品評會褒賞授與式は十日市會議室で擧行、入賞者は立毛品評會にて特等一點、一等三點一等十點、二等二十點で[illegible]

壹萬人を勇躍突破

豐原郡の志願兵熱白熱

【豐原電話】豐原郡に於ける志願兵志願熱は郡下青年の愛國者の意氣と熱とが相俟つて日熱化し八日迄の累計は遂に一萬百七十二名に上り好成績を示してゐる

宜蘭市

宜蘭市……▲宜蘭市紙芝居挺身隊では八日臨軍病院宜蘭分院の白衣勇士を慰問した

院長の「ガスの病理と症状」と題する講演あり次で[illegible]ガス防護に關する各種ガス彈に依る病状と病理方面より見た防毒の有益なる講演あり正午休憩したが午後は一時より臺南州[illegible]所消毒車を視察、二日間の會議日程を終つた

海山郡……▲[illegible]街で は十一日の紀元の佳節に[illegible]國民校に於て[illegible]學校長[illegible]の遺家族を招待し[illegible]

羅東街……▲大日本婦人會羅東街分會では[illegible]に一層拍車を掛けるため各班、各[illegible]

新竹州……▲州警察部では竹東郡井上と大湖郡上ノ島に通ずる山地道路を[illegible]

臺中州……▲第八回臺中州[illegible]

豐原郡……▲郡下各街庄[illegible]

嘉義郡……▲嘉義司法保護[illegible]

赤誠の獻金

軍司令部（十日受）

國防獻金　一〇〇圓臺北市太平町[illegible]

恤兵金　一〇圓[illegible]

獻品　[illegible]

國防獻金　五百四十四圓[illegible]

恤兵金　五千十一圓[illegible]

三名

恤兵品　[illegible]

慰問袋　九萬三千九十四個[illegible]

慰問文　二千四百四十通[illegible]

國防獻金　一萬九千五百[illegible]

恤兵金　一萬三千九十八圓[illegible]

敵撃滅の彈丸を

奇特の奉公班が獻金

南太平洋の新作戰において敵華した[illegible]の英靈一萬七千、この未だ嘗てない悲報に新聞紙上で接したとき私らは皆泣きました悲しみと残念さでたまらず憤激の淚だつたのです、[illegible]の米英の反撃を徹底的に叩きのめしこの英靈の怨みを晴さんとのことでしたそれで直ちに奉公班で應分の獻金を募りましたのがこの金です誠に僅かではありますが彈丸を一發でもお造り下さいまして敵に致命的打撃を與へてこの怨恨をお晴し下さい

と臺北市若竹町[illegible]奉公班の代表が十日午後[illegible]司令部を訪れ敵[illegible]心籠る獻金をなし[illegible]を[illegible]させた

祭粢料傳達と

見舞金贈呈

有田臺北兵事部長來宜

【宜蘭電話】有田臺北兵事部長は九日來宜、陸軍省派遣として昨年の一市三郡在住遺家族にして[illegible]祭粢料傳達並に見舞金贈呈の[illegible]家庭を訪問、懇ろに弔詞及び見舞の辭を述べたが、同夜は[illegible]に一泊、十日[illegible]で歸北した

祭粢料、賞賜

物件傳達式

【羅東電話】支那事變に護國の華と散つた故陸軍上等兵[illegible]の遺族に對する支那事變祭粢料及陸軍上等兵山下正成氏に對する賞賜物件（勲八等）の傳達式は九日午後二時羅東郡役所においてまた宇野[illegible]氏の家族に對しての賞賜[illegible]の傳達式は午後二時半冬山庄役場で有田兵事部長よりそれぞれ傳達され

英靈無言の凱旋

懐しの遺族に抱かれ

大東亞戰爭に勇躍參加し、赫々たる武勲を輝かして名譽の戰死を遂げた臺北市出身故陸軍中尉丹羽[illegible]、陸軍[illegible]の英靈は遺族に抱かれ十日午後六時基隆北部[illegible]にて無言の凱旋をなした、[illegible]主なる軍官民および市民[illegible]の出迎へあり英靈は[illegible]に安置されて直ちに[illegible]の自宅に歸還安置された

產業人の目的を完遂

生產の最高發揮へ

皇奉新竹州支部　陣頭指揮要綱作成

【新竹電話】皇民奉公會新竹州支部では[illegible]推進上、單位奉公班に對し綜一的單一目標を掲げてその徹底を期することは[illegible]ないものとしてこの程各目の職域に於て[illegible]するを[illegible]に[illegible]なるものより[illegible]具現せしめる爲、[illegible]陣頭指揮要綱及び生産力[illegible]を本部の指示に基づき作成州下各會社、工場に配布、之が具現に邁りて各自の職域に於て生[illegible]意と工夫により[illegible]をして[illegible]しめる事となつてゐるが、實施期間は二月中までとし、三月末迄に右記[illegible]表に從ひ記入報告させることになつてゐる、趣旨と項目は何處までも大東亞戰爭の目的完遂の[illegible]人に課せられた國家要請に[illegible]を[illegible]察し生產能率を阻害する諸原因を探究、率先職場戰線の陣頭指揮に[illegible]の最高度發揮に萬全を期して[illegible]事項（六項目）を確立、生產力の增強[illegible]項目に於ては一、國語常用、目標生産高の確保、[illegible]生產量の決定及び達成、原材料の[illegible]（外九項）の細かな全般的事項、二、[illegible]（七項）三、作業[illegible]六項）四、作業[illegible]

[illegible]生產部[illegible]實施される州下市部別會社、工場高級中堅幹部懇談會にもその趣旨の徹底を圖るべく成果は大いに期待されてゐる

必ず勝つぞ大東亞戰

馬公で大燈籠獻納式

【高木馬公要塞司令官參列】

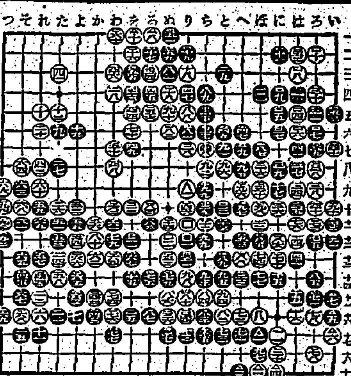
【馬公電話】八日澎湖神社で大詔奉戴日に[illegible]獻納式が盛大に取り行はれたが、引續き[illegible]澎湖神社前池中に建てられた大東亞戰爭必勝祈願の大燈籠の獻納式は高木馬公要塞司令官、[illegible]司令官を始め多數參列の下に大田[illegible]に依つて行はれた

嬉しい困惑

赤誠の金續々集る

南太平洋方面においてわが陸海軍部隊が敵の反撃を[illegible]しつつ[illegible]の血もてニューギニア[illegible]及びソロモン[illegible]に戰略[illegible]を確立し、作戰[illegible]有利な態勢を築いたに對する[illegible]民の感謝感激の念は全く[illegible]その感激の赤心を現はす獻金品は十日在北[illegible]本部へ[illegible]寄せられた獻金[illegible]七百八十圓三十八錢[illegible]

上つてゐるがその主なるものは大日本婦人會[illegible]本部長[illegible]さんほか四十八件の獻金[illegible]九百三十九圓[illegible]、[illegible]二十一萬三千五百九十二圓五十八錢を筆頭に臺南州[illegible]組合ほか二百廿八件の國防獻金一萬九千五百七十四圓五十錢恤兵金と一萬三千九十八圓六十八錢を[illegible]大保[illegible]氏一同ほか三百六十八件が獻金する等この日は[illegible]



いろはにほへとちりぬるをわかよたれそ
一二三四五六七八九十土圭古去夫七大丸

七段対六段戦

【第十四局】

先 七段 橋本宇太郎

手番 六段 村島誼紀

（二目半コミ出シ）

持時間各十一時間　一分以內切捨

消費（白五時三十分）（黑九時十四分）

口五八…三目トル
△八…口五十ノ處切トル
△九…口二四ノ處切ツグ
△十…口五七ノ處切ツグ

◇二百十手完

◇白半目勝

敗因は初中盤

七段 林有太郎

【局後の檢討】◇本局を通觀すると、黑も遂く堅實に打つて大いに働いたのであるが、一目半のコミにかかつて敗局となつたのである、からコミを念頭に入れて黑も少しく[illegible]する必要があつた、その意味において、以下[illegible]の難點を拾つて見る。

◇黑二五で左邊に二六と打ちたかつた、白二六といふ[illegible]好で、[illegible]へ白を打たせたのが幾分のユルミであつた。

◇黑二七[illegible]口十八とカタを[illegible]、白四七、黑九十、白八八、黑口八二白口十七なれば、

[illegible]黑口八二と[illegible]曲つて打つ方、手厚くて良かつたと思ふ。[illegible]七と打つた爲白に口一八と打たれて九、十九、二七の黑三子が[illegible]に薄弱となり、打ちにくい碁にした[illegible]がある。

◇右邊黑三七では七六と突當つて行きたかつた。黑が此處で[illegible]を引いた爲、白から左邊を[illegible]とツケられるに及んで黑の形[illegible]い[illegible]が現はれて來た。次いで白四八と打たれ黑五一とツケて行くやうになつては形勢[illegible]として、正しく白に[illegible]されたものと[illegible]せられる。

次の對局者

先番 七段 加藤信

六段 篠原正美

（二目半コミ出し）

解說 岩本七段

大いなる祭

(63)

中野實作

三芳悌吉畫

河南地區（[illegible]）

「姉さん……」

吹きつけるやうに叫ぶなり、金井は姉を押しのけて小机の上に[illegible]信燈をたたき落した。

「まあ、仁貞、お前は何をするの」

「何をするもんですか。姉さん……」

……

ごくつとこみ上げる淚をおさへて、金井は白蘭につき進んだ。

「僕はあなたに話がある」

「話……。話つてなによ。お前の話なんか聞かなくても判つてゐるんでひきよせ、

と、金井は白蘭の二の腕をつかんでひきよせ、

「あなたはお父さんのことを考へてあげないのですか。お父さんはどんなに姉さんのことで心配してゐるか。……姉さんが米英の手先に使はれてゐるために、お父さんは田舍へひつ込んで、どんなに世間狭い思ひをしてゐられるか、あなたには判らないのですか。日本の[illegible]の時に功勞のあつた金仁瑯の娘として、今あなたは何をしてゐるのです。それでも、あなたは、日本人ですか」

「お黙り」

白蘭は弟の手をふり拂つて、

「お前は、それで、日本人だと思つておいでなのか。ほんたうにさうだと思つてゐるの？」

「さうです。僕は日本人です」

「ふゝん」

と白蘭はあざ笑ふやうに唇を曲げて、

「さう思つてゐれば世話はないよ」

「姉さん――」

「仁貞」

と白蘭はわざと金井の本名をよんで、

「お前は日本人でも、あたしは日本人ぢやあないよ。あたしは、日本と云ふのだ――」

「なんですつて」

金井は衣嚢の拳銃を握りしめた

「まあ……」

「判つたら、さあ、僕と一緒に出てもらひませう。それとも、どうしても僕一人だけで歸れといふのなら、僕は、あんたを死體にしなければならない」

「お前があたしを……」

「さうです。お父さんの命令だ」

「お父さん……」

と白蘭は唇をふるはせながら嗤くやうに云つた。

「姉さん……」

「やあ、人を呼ぶよ」

「いいから、お黙り。聲らなきよ。いいから、お呼びなさい。呼んで僕を引渡すなら渡すといい。仁貞――いや今の僕の名は金井[illegible]雄だ。金井[illegible]雄といふ日本人なのだ」

「お前が日本人だらうとなんだらうと私になんの關係があるものかさ、はやくおかへり。あたしが聲をたてたら、お前の生命はないんだよ」

脅すやうに云つたものの白蘭の聲に緊張するやうに[illegible]しかつた。

「生命なんか惜しくて、僕は姉さんの……」

と、云ひかけて、强く、

「金白蘭のあとを追けて來たんぢやないんだ。僕は使命を帶びてやつて來たのだ」

「え」

と白蘭は驚きの色をうかべて、

「ぢやあ、お前は、日本の――」

「さうです。上海特務班の一員で[illegible]」

臺灣の獨學青少年諸君へ……

自宅で習へる中學講義錄

見本無代進呈　ハガキ下さい

東京市牛込區[illegible]　東京豫備學校

食慾增進　完全消化

カネボウ　消化胃健錠

南方特産パパイン配合

一〇〇錠入　二円〇〇
二〇〇錠入　三円八〇

東京市品川區大井鎧町　鐘紡藥品化學研究所

仰ぐ皇統　輝く紀元

皇紀 2603

臺北市京町貳丁目　株式會社 松本商行　電話四〇六四・五四四番

臺北市宮前町三六三　臺灣オフセット印刷株式會社　電話二〇二四三番

醫院向藥品取揃へテ有リマス　藥品全般　大平藥業株式會社　本社 臺北市太平町二ノ八四

臺北市宮前町一四一番地　各種ポンプ・其他鍛冶製品製作販賣　三上鐵工所　電話四四四〇番

鋲螺釘專門製造　臺北市蓬萊町三三三番地　臺灣錨釘工業株式會社　電話六一三四番

臺北市宮前町九六　國產スレート株式會社　電話五一三三番

臺北市榮町三丁目　合名會社 秋本商店裝飾部　代表社員 秋本雄一

臺北市宮前町一八五　株式會社 大同鐵工所　電話六四七五番

臺北市榮町二丁目　臺灣出版印刷株式會社

臺北市老松町一ノ一　教育用地圖掛圖　臺灣教材株式會社　電話二三七六番

實用向春の銘仙荷着　臺北市榮町　近江屋吳服店　電話二二〇四・五九番

實用向春の銘仙荷着　臺北市榮町　株式會社 松井吳服店　電話[illegible]四一・四五二番

實用向春の銘仙荷着　臺北市榮町　藤井吳服店　電話五九五・五〇七番

藤井の竹笹ロープ　大安產座[illegible]

實用向春の銘仙荷着　臺北市本町　福田吳服店　電話三〇二五四番

實用向春の銘仙荷着　臺北市本町二丁目[illegible]　服部吳服店　電話六九二二番

春物入荷　臺北市大和町　辻惣吳服店　電話八五六二番

臺北市榮町三丁目　秋本蒲團店　電話七四六[illegible]八番

工藝品眼鏡專門商　臺北市榮町三丁目　鎌野時計舖　電話二八三七番

洋雜貨商　臺北市榮町二丁目　大倉本店　電話四二六九九〇番

臺北市榮町二丁目十七番地　鞄靴商　巴商會　久米辛　電話[illegible]

胃腸の若返りに獨特の強壯劑パンドマン　臺北　南門藥局

臺北市榮町四丁目　廣生堂藥舖　電話二九八一・九番

各種藥品並化粧品　臺北市建成町三　東京堂藥局　電話六四〇五番

臺北市本町三丁目　藤田本店　藤田敏男

臺灣染色捺染整理工場　山崎商店　營業所 臺北市本町　工場 臺北市[illegible]

臺北市京町三丁目　元祖 東陽製菓部　林田重俊　電話貳六四貳番

冬必備の…保健劑

呼吸器の防護と造血・衰弱防止を兼ねた全肝臓ＡＤ劑……

エーデーは鱈肝油に劣らぬビタミンＡＤの外Ｂ₂・ヘモーゲン（造血素）・肝臓ホルモン・アミノ酸等に富み胃腸を害せず

腺病質　結核　体精力

特許乳化によりＡＤ單位を正確に保ち服み良い

農林省水產試驗場創製

エーデー

わかもと販賣

水産化學工業製造

切らずに治る！　小柳式脫腸帶

ピッタリ

身體によく合つてやはらかいゴムの力は飛んでも――跳ねても肌を傷めず

ハヤク――完全に治る

小柳式をお使ひ下さい

大人用・中人用・小人用　各種あります

圖園

美本「脫腸と其療法」一冊　ハガキで申込次第進呈

各大病院指定品

大阪三越・一流デパート・有名藥店にあり

東京市神田區須田町一ノ一〇　三信株式會社

臺灣總督府官報

月極購讀　一ケ月四拾五錢

外ニ月別保存用官報一冊　金九十錢

發賣所　臺灣日日新報社

島內各臺日取次店

ビタミンB₂複合體

結核・慢性胃炎・胃潰瘍・慢性大腸炎・持續性下痢に快効を認めらる！

蛋白質を完全游離せる良消化吸收性のビタミンB₂複合體なれば衰弱せる胃腸にも負擔を與へず奏効す。

理研ビタクス錠

財團法人 理化學研究所 創製

中年の奥様へ

中年から中年すぎの女性は、[illegible]

東京市日本橋區本町三ノ三　友田合資會社